

平成 26 年度
事業報告書

目 次

1 相談・広報	
(1) 専門家派遣・窓口相談事業	4
ア 相談サービスの拡充	4
イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施	4
ウ 高度化診断助言の実施	5
エ 専門家派遣事業	5
オ 下請かけこみ寺事業	5
カ 小規模事業者巡回相談	6
(2) 情報提供事業	6
ア クリエイティブ京都M&Tの発行	6
イ 財団ホームページによる情報発信	6
ウ メールマガジンによる情報発信	6
エ 財団パンフレットの発行	6
オ ビデオライブラリー	6
カ 新聞発表等による情報発信	6
(3) 専門的・高度人材活用事業	7
ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導	7
(4) ワンストップ相談の強化	7
よろず支援拠点窓口の設置	7
2 経営課題の解決	
(1) 市場開拓	8
ア 受発注情報提供事業	8
イ マーケティング支援事業	9
ウ 北京都ものづくり拠点構想推進事業	10
エ 事業アライアンス・販路拡大支援事業	11
オ 京都伝統産業協働バンクの運営支援事業	12
カ 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業	12
キ 「商工業」元気づくり事業	12
(2) 設備投資支援	12
ア 設備貸与事業	12
イ 中小企業経営安定・改善支援事業（一般枠）	12
ウ 中小企業育成支援事業	13
エ 中小企業経営安定化等支援事業	13
オ みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業	13
カ コスト縮減設備投資支援事業	13
キ 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業	14
(3) 人材の育成	14
ア 人材育成研修事業	14
イ 北部産業活性化拠点事業・京丹後推進事業	14
ウ 事業後継者育成力レッジ事業	15
エ イノベーション・経営人材育成事業	15
(4) IT（情報技術）の活用	17

ア	広域連携ネットワーク整備事業	17
イ	ＩＴ活用促進支援事業	17
(5)	貿易・海外市場の進出	18
ア	京都企業アジア市場開拓支援事業	18
①	上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の活動	18
②	販路開拓事業	20
イ	京都イタリア中小企業交流支援事業	23
ウ	海外ビジネスサポートセンター事業	23
エ	農産物輸出ビジネス支援事業	25
(6)	京都府中小企業応援隊事業	25
ア	中小企業小さな革新支援事業	25
イ	中小企業等設備再建支援事業	25
3	経営革新・企業の連携・新事業の展開	
(1)	経営・事業計画	26
ア	中小企業研究開発等応援事業受託事業	26
イ	地域産業研究開発支援事業	26
ウ	知恵の経営の推進	27
(2)	起業・創業・事業継続	27
ア	中小企業事業継続支援事業	27
イ	元気企業・旗揚げ促進支援事業	30
ウ	地域需要創造型等起業・創業促進事業	30
エ	ベンチャー支援事業関連審査等の実施	31
オ	京都経営品質協議会の運営支援	31
(3)	企業連携	33
ア	京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜研究開発型＞	33
イ	京都企業戦略的共同研究推進事業	35
ウ	オープンイノベーション連携推進事業	36
エ	京都「企業の森」創造推進事業	36
オ	『企業連携のすゝめ』講演と交流のつどい	37
カ	K I I C（京都産業創造クラブ）事業	37
キ	新連携異業種交流推進事業	40
(4)	産学公連携	43
ア	交流連携促進事業	43
イ	産学公連携研究開発資金支援事業	43
ウ	産学公連携研究開発資金支援事業	44
エ	地域産業育成産学連携推進事業	44
オ	産学公金連携マッチングフェア	45
カ	ウェルネス産業の創出支援	46
(5)	試作産業推進事業	46
ア	試作パートナー企業グループの育成	46
イ	産学連携事業の実施	47
ウ	その他	47
(6)	新産業育成・地域振興	48
ア	京都元気な地域づくり応援ファンド事業	48

イ	きょうと農商工連携応援ファンド事業	50
ウ	京都企業創造ファンド事業	51
エ	ベンチャー企業ソフト支援事業	51
オ	外国出願支援事業	52
カ	農商工等連携支援事業の支援	52
キ	けいはんな・南部地域支援事業	53
ク	京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業<一般型>	53
ケ	中小企業R&D支援事業	54
(7)	京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト	54
ア	事業概要	55
イ	財団の取組	55
ウ	事業実施状況	57
エ	事業一覧	57
4	庶務	
(1)	理事会、評議員会	59
ア	理事会の開催状況	59
イ	評議員会の開催状況	60
(2)	第3次中期計画「3カ年の数値目標」（平成24年度～26年度）の実績状況	61
(3)	人材育成研修	61
ア	派遣研修	61
イ	職員研修	61
ウ	スキルアップ研修会	61
(4)	KIIC会員等の状況	62
(資料)	財団の現況（平成27年3月31日現在）	63

平成 26 年度公益財団法人京都産業 21 事業報告

1 相談・広報

(1) 専門家派遣・窓口相談事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ア 相談サービスの拡充

平成 17 年 4 月から（公財）京都産業 21 と京都府中小企業技術センターが連携して京都府産業支援センターを構成し、その機能の一環である総合相談窓口を引き続き運営するとともに、25 年度からは事業継続支援センターや補助金支援グループの創設など相談対応の体制を充実した。また、26 年度からはよろず支援拠点を設置し、中小企業等の様々な課題に対して、経営・技術の両面からワンストップサービスの相談に対応するとともに、専門家や各種の支援策の活用を図りながら、きめ細かく支援を行った。

表 1 相談企業数と業種別内訳

相談企業数	内 訳					
	製造業	卸売業	建設業	小売業	サービス業	その他
11,455 社	7,972	254	119	437	1,453	1,220
	69.6%	2.2%	1.0%	3.8%	12.7%	10.7%

※%は構成比

表 2 相談の総件数 15,222 件

内 訳							
経営全般	マーケティング	資金	法律	労務	税務	技術	ビジネス
6,172	1,659	457	39	1,400	19	244	565
40.55%	10.90%	3.00%	0.26%	9.20%	0.12%	1.60%	3.71%
IT	取引適正化	事業提携	会社設立	省エネ	ISO	特許	その他
83	79	239	1,171	17	9	165	2,904
0.55%	0.52%	1.57%	7.69%	0.11%	0.06%	1.08%	19.08%

※%は構成比

イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施

中小企業からの様々な日常的な相談に対応し、支援活動の拠点としての機能を高めるため、経営支援相談員を配置するとともに、毎週木曜日午後には専門家特別相談（専門家 3 名の交替対応）を実施した。

表 3 相談員別相談件数

区 分	担 当 者	開設日数	相談件数	支援内容
経営支援 相談員	伊地知 憲二 氏 元村田製作所知的財産部副参事	週 4 日	228 件	経営革新 41、創業 10、 技術 15、知財・その他 162

専門家特別相談員	西村 卓 氏 (有)アイディール取締役	25日	38件	7件	創業 4、経営革新 2、 その他 1
	安田 徹 氏 京都総合税理士法人代表			19件	創業 12、経営革新 1、 その他 6
	山崎 忠夫 氏 (株)ザ・プレーン取締役会長			12件	創業 6、その他 6

ウ 高度化診断助言の実施

独立行政法人中小企業基盤整備機構の規程に基づく高度化事業に係る資金の貸付け等の利用者に対する診断助言を実施した。

また、組合等に参画の個々の組合員等に対しても財務診断助言を実施した。

表4 高度化診断助言の区分と件数

区分	小売商業等 商店街近代化事業	商店街整備事業	施設集約化事業	合計
件数	組合員 1 件	企業 1 件	組合 1 件	3 件

エ 専門家派遣事業

財団に登録した民間専門家（計 227 名）から中小企業の課題に適した専門家派遣を行い、診断・助言を実施した。（支援を完了した延べ企業数 71、派遣延べ回数 237 回）

利用企業の業種は、サービス業 43.7%、製造業 26.8%、小売業 9.9%、建設業 7.0%、卸売業 5.6%、その他 7.0%であった。

また、「経営の革新」に分類されるものが 88.7%であるが、創業関係が 11.3%と前年度（4.6%）に比して増加傾向にある。支援課題としては経営全般が多く、具体的な支援課題として、IT、税務、ビジネスプラン、ISO、マーケティング、労務に関するものが多かった。

利用後のアンケート調査では、100%が満足との回答であった（「満足」95.7%、「おおむね満足」4.3%）。

表5 専門家の分野別登録の状況

法律	6名	経営全般	28名	技術（化学）	1名
知的所有権	8名	経営戦略・マーケティング	40名	技術（電気・電子）	4名
創業・ベンチャー	14名	情報システム	12名	技術（食品）	4名
資金調達・株式公開	6名	環境管理	10名	技術（繊維）	2名
財務・税務	22名	品質管理	3名	デザイン・店舗設計	13名
労務・人材開発	14名	生産管理	6名	その他	20名
国際ビジネス	9名	技術（機械）	3名		
経営品質向上	1名	技術（金属）	1名		
					計 227 名

オ 下請かけこみ寺事業（（公財）全国中小企業取引振興協会 受託金）

（公財）全国中小企業取引振興協会の委託を受け、専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス、下請法ガイドラインの説明会等を行った。

また、相談弁護士を配置して、定期相談会のほか、かけこみ寺 in 京都ビジネス交流フェア

等の無料法律相談や弁護士事務所での個別相談等を実施した。

表 6 かけこみ寺相談実績

下請法	建設業	その他	合 計
23件	8件	29件	60件

◆定期移動相談会：毎月1回、京丹後市、綾部市、南丹市、亀岡市、久御山町の各会場で実施

◆下請法ガイドライン説明会： 4回 参加者合計 182人

カ 小規模事業者巡回相談（京都府 受託金）

小規模事業者に対して、専門家及び財団職員が巡回による経営相談・経営指導を行った。専門家による指導については、各種展示会へ出展する企業や新製品等の販路拡大を目指す企業等を対象に、セールスプロモーション及びマーケティング手法等について指導・助言を行った。

巡回相談企業数 延べ23社、うち専門家派遣21社

（2）情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ア クリエイティブ京都M&Tの発行

京都府産業支援センターを構成する京都府中小企業技術センターと連携して、中小企業者等の経営・技術をサポートする情報誌「クリエイティブ京都M&T」をフロントページを刷新して発行した（5月号～翌年4月号まで 11回（7・8月は合併号） 各6,000部）。

イ 財団ホームページによる情報発信

中小企業者等の経営に有用な旬の情報をリアルタイムで提供した。

アクセス数：1,570,162件（月平均130,847件）

ウ メールマガジンによる情報発信

財団ホームページへの新規情報掲載を、週1回メールマガジンとして、登録者（3月末12,300名）に発信した。

エ 財団パンフレットの発行

財団の業務を紹介したパンフレット（7,000部）を作成し、財団業務のPRに努めた。

オ ビデオライブラリー

経営課題の解決に役立つビデオテープ（約2,100本）及びDVD（85本）を所蔵し、242本（内、DVD延べ150本）の無料貸出を行った。

カ 新聞発表等による情報発信

財団が行う事業の開催や調査の結果等について、随時新聞発表を行い、広く情報提供に努めた。（プレス発表 52回、新聞掲載実績 14回）

(3) 専門的・高度人材活用事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導

経営又は技術部門を統括した経験を有するビジネス・スーパーバイザー（4名）により事業計画の評価や助言・指導を実施した。

表7 ビジネス・スーパーバイザーが参加する審査会等

実施形態	回数	内容等
経営革新計画、応援条例等支援	20回	経営革新・応援条例計画プレゼンブラッシュアップ及び運営検討会
応援条例認定企業フォローアップ訪問	14社	認定企業を訪問支援
ベンチャー可能性評価委員会	8回	連携型イノベーション研究開発事業補助審査
けいはんな小委員会等	3回	けいはんなインキュベーション入居等審査
技術顕彰連絡会等	3回	技術顕彰審査等
定例ミーティング	16回	
その他の審査会等	13回	京都企業設備支援事業費補助審査等

(4) ワンストップ相談の強化

よろず支援拠点窓口の設置（近畿経済産業局受託金 中小企業・小規模企業ワンストップ総合支援事業委託金）

よろず支援拠点に6名のスタッフを配置し、地域の支援機関と連携してワンストップサービスを実施した。

表8 よろず支援拠点事業実績

	目標件数（A）	累計支援実績（B）	達成率（B/A）
来訪相談者数	1,000	765	76.5%
相談対応件数	1,140	2,481	217.6%
売上拡大支援	500	542	108.4%
経営改善支援	20	101	505%
その他	480	1,606	334.5%
チーム編成支援	40	149	372.5%
ワンストップサービス	100	83	83%

2 経営課題の解決

(1) 市場開拓

ア 受発注情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

①受発注取引の適正化

専任の常勤相談員を設置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス等を実施するとともに、下請法の周知を図った。

財団顧問弁護士による取引適正化無料法律相談を毎月第2火曜日に行った。

相談実績 17 件

②調査・情報の提供等

◆受注登録企業動向調査

財団に登録している受注企業の受注動向を把握し、受発注取引あっせんの円滑な推進を図った。

表9 受注登録企業調査実績（郵送によるアンケート調査）

	調査時期	調査対象	回答企業数	回収率(%)
第1回	平成26年6月末現在	財団登録受注企業 285社	225	78.9
第2回	9月末現在		220	77.2
第3回	12月末現在		214	75.1
第4回	平成27年3月末現在		213	74.7

◆北部地域の産業動向・景況の調査

北部地域機械金属業界景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表10 北部地域機械金属業界景況調査実績

	調査時期	調査対象	回答企業数	回収率(%)
第1回	平成26年6月末現在	北部企業187社	130	69.5
第2回	9月末現在	北部企業188社	132	70.2
第3回	12月末現在	北部企業187社	125	66.8
第4回	平成27年3月末現在	北部企業185社	126	68.1

◆丹後織物業の景況動向調査

丹後織物業景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表11 丹後織物業景況動向調査実績

区分	調査時期	調査対象	回答企業数	回収率(%)
第1回	平成26年12月	産地機業等203社	85	41.9
第2回	平成27年2月	産地機業等8社	訪問聴取方式	

◆室町・西陣和装市況調査

京都室町・西陣和装市況の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 12 京都室町・西陣和装市況調査実績

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第1回	平成 26 年 10 月	産地機業等 6 社	訪問聴取方式
第2回	平成 27 年 2 月	産地機業等 4 社	訪問聴取方式

イ マーケティング支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金等）

①取引あっせん

消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減や輸入物価の上昇等の影響から、発注量が伸び悩む中、現場主義による受発注登録企業の取引あっせんのニーズ把握に努めるとともに、広域的な発注開拓により、受発注取引あっせんに努めた。

表 13 登録企業数

区 分	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月		平成 27 年 3 月末	前年度末
	新規登録数	登録取消数		
発注企業	7(5)	8(0)	891(326)	892(321)
受注企業	29(0)	36(4)	2,181(52)	2,188(56)
合 計	36(5)	44(4)	3,072(378)	3,080(377)

() は他府県分で内数

この他、インターネットによる受発注取引情報提供システム（BPNet）登録企業数 1,307 社

表 14 受発注申出・あっせん件数及び相談件数

区 分	件数・金額	区 分	件 数
発注申出件数	297	取引あっせん相談	1,455
受注申出件数	689	経 営 相 談	683
あっせん件数	1,687	技 術 相 談	6
取引成立件数	84	苦情・紛争相談	75
当初成約金額	101,614 千円	そ の 他	558
		合 計	2,777

②モノづくり受発注広域商談会（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

大阪開催の商談会に共同主催者として参加し、京都企業に他府県での商談会参加の機会を提供し販路開拓支援を行った。

開 催 日 平成 26 年 9 月 25 日（木）
 場 所 マイドームおおさか（大阪市中央区）
 主 催 京都、滋賀、大阪（事務局）、和歌山、鳥取、香川、徳島、高知、愛媛の財団
 参加発注企業 95 社
 参加受注企業 331 社（内、京都企業 60 社）
 商談件数 941 件

③京都ビジネス交流フェア 2015 の開催

府内中小企業の開発製品や加工技術をアピールする展示会「ものづくり加工技術展」「製品開発型技術展」及び大手発注メーカー等との商談を行う「近畿・四国合同広域商談会」

などによる「京都ビジネス交流フェア 2015」を京都パルスプラザにおいて開催。

表 15 京都ビジネス交流フェア 2015 の実績とアンケート結果（展示）

開催日	出展企業等	来場者数	商談件数	来場者アンケート結果 (回収 2,801 枚)		
				参考に なった	参考に なら なかった	無回答
平成 27 年 2 月 18 ・ 19 日	【展示】 ものづくり加工技術展：102 社・15 グループ 製品開発型技術展：48 社 ソリューションゾーン 6 社 産学公金連携マッチングフェア：34 大学・機関 【商談会】 発注企業 170 社、受注企業 479 社	8,800 名	2,785 件	97.2%	2.5%	0.3%

④近畿・四国合同広域商談会事業（(公財)全国中小企業取引振興協会補助金 参加府県支援機関負担金）

新規外注先・協力先を求める全国の手・中堅メーカー等と新規取引先を開拓したい近畿・四国の中小企業に出会いの場を提供するために実施。

開催日 平成 27 年 2 月 18 (水)・19 日 (木)
 場 所 京都パルスプラザ
 参加発注企業 158 社
 参加受注企業 428 社 (内、京都企業 109 社)
 商談件数 1,765 件

ウ 北京都ものづくり拠点構想推進事業（京都府補助金 北京都ものづくり拠点構想推進事業補助金）

特色ある中小企業が数多く集積する中丹地域の特色を活かし、ものづくり企業がイノベーションに向けた成長を図り、中小企業の自己研鑽や企業間の水平的連携、進出大手企業等との連携を促進するため、次の事業に取り組んだ。

表 16 意識改革セミナーの開催

開催日	開催場所	講師	参加者	備考
9 月 26 日 (金)	サンブラザ万助 (福知山市)	福永文昭氏 (ダイハツ工業(株))	41 名	

表 17 南部企業との交流会

開催日	開催場所	南部企業	北部企業	備 考
12 月 2 日 (火)	(株)長濱製作所 (京都市南区)	1 社	5 社	真の 3S、5S の目的を明確にし、ものづくりに対する意識改革を進める

企業訪問（中丹）

受発注案件の有無・内容、景況聞き取り等の調査のため、中丹地域で延べ 233 件の企業訪問を行い、その内マッチングした 72 件を受注紹介し、その内 8 件について商談が成約した。

研修

地元企業の開発・設計力を高めるため、大学教授等による専門講座の研修を延べ 9 日実施し、

延べ 131 名の参加があった。

エ 事業アライアンス・販路拡大支援事業（京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト）

①専門コーディネータによる企業訪問を通じたハンズオン支援

表 18 月別企業訪問件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	22	47	48	87	64	32	52	30	26	44	26	26	504

②ビジネスマッチングの促進

◆大手及び中堅メーカーと府内ものづくり中小企業との技術ニーズ商談会を 17 回開催

表 19 技術ニーズ商談会開催状況

開催日	ニーズテーマ	受注企業数
平成 26 年 4 月 4 日（金）	装置の部品	6 社
4 月 23 日（水）	製造装置のジグ部品	8 社
5 月 14 日（水）	工作機械周辺装置	2 社
5 月 22 日（木）	工作機の部品	6 社
6 月 13 日（金）	製造装置	7 社
7 月 4 日（金）	錠剤印字機	3 社
7 月 18 日（金）	装置の部品	8 社
7 月 31 日（木）	住設関係の部品	15 社
8 月 11 日（月）	印刷用ローラー	5 社
9 月 11 日（木）	基幹ソフト関係	20 社
10 月 10 日（金）	ポンプの部品	2 社
10 月 14 日（火）	開発用部品	7 社
10 月 20 日（月）	開発用部品	8 社
10 月 29 日（水）	環境プラントの組立 & 部品	4 社
11 月 5 日（水）	住宅部品 & システム	6 社
11 月 10 日（月）	装置の部品	25 社
平成 27 年 3 月 27 日（金）	電気商品の部品 & リトリア	3 社

◆首都圏での展示会において展示商談会（「京都次世代ものづくり企業」コーナー）を開催

展示会：ネブコンジャパン 2015（第 5 回 微細加工 EXPO）

会 場：東京ビッグサイト

会 期：平成 27 年 1 月 14 日（水）～16 日（金）

出展企業： 8 社

面談数： 914 社

商談件数：164 社

③ビジネス実践講座の開催

ものづくり中小企業が「強み」「弱み」「脅威」分析を行い、技術提案のあり方を検討し、商談会用のアプローチシートの作成のための実践的な講座を実施。

講座名：技術提案力強化ワーキング塾

期 間：平成 26 年 10 月 23 日（木）～11 月 29 日（土）

回 数：座学（演習）5回＋現場指導2回
受講者：12名

オ 京都伝統産業協働バンクの運営支援事業

京都伝統産業協働バンク（101 企業）の参加工房をホームページにて紹介・PR を行った。

カ 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業（京都府補助金 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業費補助金）

「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、産地組合や企業グループ等が実施する新商品開発や販路開拓、人材育成、制作実演などの取組みを支援した。

①販路開拓事業等

- ・補助率 2分の1 以内

②制作実演事業

- ・補助率 4分の3 以内

表 20 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
5月12日～5月30日	55	51	61,401

キ 「商工業」元気づくり事業（新規 京都府補助金 「商工業」元気づくり事業費補助金）

消費税率の引上の反動減を緩和するため、中小小売・サービス・伝統産業事業者がグループで実施する販路促進の取組みを支援した。

表 21 「商工業」元気づくり事業費支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
4月1日～4月30日	4	4	928

（2）設備投資支援

ア 設備貸与事業（京都府借入金、金融機関借入金）

設備貸与・リース事業の活用について、そのメリットのPRに努め、平成26年4月～27年3月までの事業実績は、12件 121,120 千円 であった。

表 22 設備貸与決定状況

区 分	平成26年度実績		平成25年度実績	
	件 数	金 額（千円）	件数	金 額（千円）
割 賦	10	104,745	15	254,517
リ ー ス	2	16,375	2	21,815
計	12	121,120	17	276,332

イ 中小企業経営安定・改善支援事業(一般枠)（京都府補助金 中小企業経営安定・改善支援事業費補助金）

府内の中小企業等が実施する、経営基盤の安定、改善に向けた取組や販路開拓、機器更新等

の取組に要する諸費用の一部を補助金交付により支援した。

表 23 中小企業経営安定・改善支援事業費交付実績

募集期間		申請件数	採択件数	交付額（千円）
4月1日～4月21日	一般枠	73	22	83,580
	応援隊枠	36	36	18,292

ウ 中小企業育成支援事業（京都府補助金 中小企業育成支援事業費補助金）

開業、設立又は事業転換から間もない府内の中小企業等が行う、工場の建設や増改築、生産設備の購入等の設備投資及び新たに府内在住者を雇用した場合に要する費用の一部を補助金交付により支援した。

表 24 中小企業育成支援事業費交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
4月1日～4月25日	16	12	84,501

エ 中小企業経営安定化等支援事業（新規 京都府補助金 中小企業経営安定化等支援事業費補助金）

原材料費の高騰やエネルギーコストの上昇等による影響を受けている府内の中小企業等が行う、経営安定化等に向けた収益改善への取組の諸費用の一部を補助金交付により支援した。

表 25 中小企業経営安定化等支援事業費交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
7月11日～8月12日	270	203	462,401

オ みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業（新規 京都府補助金 みやこ構想セカンドステージ加速化推進基金造成事業補助金）

府域の北から南まで、すべての地域が活力ある「みやこ」として輝くことができる地域づくりを進める「みやこ構想」をセカンドステージへと進めていくために、製造業又は情報通信業を営む中小企業等が行う「みやこ構想」の推進につながる設備投資の取組みを支援した。

- ・補助率 15%以内（中堅企業は10%以内）
- ・補助金額 100万円以上3,000万円以内
- ・事業期間 平成26年度～27年度（最長1年間）

表 26 みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業採択実績

募集期間	事業提案件数	採択件数	採択額（千円）
11月18日～12月24日	5	5	71,424
1月14日～2月4日	4	2	

カ コスト縮減設備投資支援事業（新規 京都府補助金 コスト縮減設備投資支援事業費補助金）

原材料費が高止まりし、円安の進行等で更なる高騰が懸念されるなか、製造業を営む内需型のものづくり中小企業等が行う固定経費の軽減につながる生産設備等の導入の取組みを支援した。

- ・補助率 20%以内
- ・補助金額 100万円以内

表 27 コスト削減設備投資支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
12月 1日～1月9日	10	9	9,373
1月15日～1月30日	5	5	

キ 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業〈設備投資型〉（新規 京都府補助金 京都エコノミック・ガーデニング支援強化〈設備投資型〉基金造成事業補助金）

新商品・新サービス開発や新分野進出などの事業化段階における生産体制の構築、販売・サービス提供の拠点整備等の取組等

- ・補助率 15%以内
- ・補助金額 上限 3,000 万円、下限 100 万円
- ・雇用補助 正規雇用者 1 人当たり 40 万円（障害者の場合 50 万円）※上限 500 万円
- ・事業期間 平成 26 年度～28 年度（最長 24 か月間）

表 28 エコノミック・ガーデニング支援強化事業〈設備投資型〉採択実績

募集期間	事業提案件数	採択件数	採択額（千円）
9月1日～10月23日	27	24	426,684

（3）人材の育成

ア 人材育成研修事業（人材育成研修事業収益）〈人づくり塾〉

中小企業の人材育成に資するため、新入社員研修を実施した。

表 29 研修メニューと受講者数

開催日	講習名	受講者数
4月2～3日	新入社員研修	40名

新入社員研修のアンケート結果では、「仕事の役に立つか」の項目では「大いに満足」「満足」が 100%、「期待に添うものであったか」の項目でも「大いに満足」「満足」が 100%と高評価を得た。

イ 北部産業活性化拠点・京丹後推進事業（京都府補助金 京丹後市補助金）

＜「丹後・知恵のものづくりパーク」での人材育成事業＞

①丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、京都府、京丹後市の補助金を活用し、京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引するリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等、経営・技術の両面に及ぶ各種研修を実施した。

表 30 人材育成事業の実績

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	73 講座	1,282 名
経営系研修	18 講座	738 名
合 計	91 講座	2,020 名

②丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付

丹後・知恵のものづくりパーク内に整備した工作機器・検査機器等を活用し、地域の産業技術活性化や企業立地の促進を図った。

貸付延時間 627 時間

(京都府織物・機械金属振興センター分含む)

ウ 事業後継者育成力レッジ事業(新規 近畿経済産業局受託金 中小企業・小規模企業ワンストップ総合支援事業委託金)

一般社団法人京都府中小企業診断協会との共催により企業の事業承継支援のため、事業承継して間もない者や後継予定者等を対象に事業後継者育成力レッジを開催し、経営戦略・計画策定、マーケティング、財務会計、人材マネジメント、経営革新の進め方・京都府の支援策についての講習及びグループ演習を行い、これらの成果として専門家派遣も取り入れ、参加者が自社の経営革新・経営改善計画を作成し、発表会を行った。

開催期間：平成26年7月6日・7日～10月19日・20日

(7回開催 内、第1回及び第8回は1泊2日の宿泊セミナー)

受講者数：15名

研修の評価：アンケートでは、「とても役に立った」「役に立った」が80%。作成した経営改善等の計画の実践について、「再考して」含めて「実施したい」が80%であった。

エ イノベーション・経営人材育成事業(新規 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト)

企業の成長に最も重要なイノベーションによる経営革新を推進できる経営人材を育成することをねらいとし、経営戦略や市場戦略、組織改革、生産革新等をテーマに、4つの講座と4つのセミナーを開催すると同時にコーディネータによる個別企業伴走支援を行った。

その結果、50名の雇用を創出した。(年度目標38名)

①同志社ビジネススクール(DBS)共同企画「成長のための経営戦略講座」(全10回)

対象者：主に京都府内製造業・情報通信業中小企業経営者、幹部候補者

場所：同志社大学室町キャンパス 寒梅館2階

受講者数：44名

表31 「成長のための経営戦略講座」実施状況

	開催日	テーマ	講師
第1回	平成26年9月2日	イノベーションマネジメント①	DBS教授 北寿郎 氏
第2回	9月16日	イノベーションマネジメント②	
第3回	9月30日	イノベーションマネジメント③	
第4回	10月14日	中小企業ファイナンス①	DBS教授 大久保隆 氏
第5回	10月18日	中小企業は地球時代をどう生きるか	DBS教授 浜矩子 氏
第6回	10月28日	中小企業ファイナンス②	DBS教授 大久保隆 氏

第7回	11月4日	製造業中小企業の事業創造①経営戦略	DBS教授 児玉俊洋氏
第8回	11月18日	製造業中小企業の事業創造②産学連携	
第9回	12月2日	製造業中小企業の事業創造③企業間連携	
第10回	12月16日	受講生による各社の成長戦略発表	北氏、大久保氏、 児玉氏

②「市場戦略のプロセスをつくる」講座（全7回）

対象者：主に京都府内製造業・情報通信業中小企業経営者、幹部候補者、マーケティング部門責任者

講師：岡本正耿氏

株式会社マーケティングプロモーションセンター 代表取締役

早稲田大学大学院客員教授、同ビジネススクール講師

受講者：40名

表 32 「市場戦略のプロセスをつくる講座」実施状況

	開催日	テーマ	場 所
第1回	平成26年9月19日	ビジネス・マーケティングの考え方	メルパルク京都 「研修室3」
第2回	10月7日	市場の分析と研究	
第3回	11月5日	顧客関係管理	京都リサーチパーク「ルーム 2」
第4回	11月21日	サプライチェーン・マネジメント	
第5回	12月4日	戦略的考え方	
第6回	平成27年1月14日	顧客価値の明確化	
第7回	2月16日	マーケティング・コミュニケーション	

③「経営と製造現場をつなぐ」講座（全5回）

対象者：京都府内製造業中小企業の経営者、幹部候補者、製造現場責任者

講師：神戸正志氏

学校法人産業能率大学経営管理研究所 技術経営研究センター 主任研究員

受講者：24名

表 33 「経営と製造現場をつなぐ講座」実施状況

	開催日	テーマ	場 所
第1回	平成26年11月6日	経営と現場をつなぐ思考を磨く	京都府中小企業 会館
第2回	11月19日	“現場のありたい姿”を目指す思考 を磨く	
第3回	12月11日	工場見学から“現場活動をみる眼” を養う	工場見学 (2社)
第4回	平成27年1月19日	“現場の改善”を目指す思考を磨く	京都府産業支援 センター研修室 等
第5回	2月3日	“自社の改善活動”の具体化と実行 に向けて	

④同志社ビジネススクール共同企画「特別講座」（1回）

開催日：平成27年3月7日

場所：同志社大学室町キャンパス 寒梅館

内容：【第Ⅰ部】基調講演「世界の経営学からみる日本企業のイノベーションへの課題」

講師 入山章栄氏 早稲田大学ビジネススクール准教授

【第Ⅱ部】受講者による成果発表

発表者 2社

コメンテーター 入山章栄氏 早稲田大学ビジネススクール准教授

北寿郎氏 同志社ビジネススクール教授

児玉俊洋氏 同上

受講者：45名

⑤各種セミナー 延べ受講者数：327名

表 34 セミナー開催状況

名 称	開催日	場 所	講師等	受講者数
「人づくりによる組織改革と経営力の向上を目指して」	平成26年 6月19日	京都リサーチ パーク「バズホ ール」	西精工株式会社 代表取締役社長 西 泰宏 氏 株式会社京進 代表取締役社長 白川 寛治 氏 株式会社マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 岡本 正耿 氏	153 名
「経営力を高める製造現場づくり」	10月1日	京都リサーチ パーク「サイエ ンスホール」	学校法人産業能率大学経営管理研究所 マネジメント研究センター 主席研究員 総合研究所教授 曾小川 久英 氏 同研究所 技術経営研究センター 主任研究員 神戸 正志 氏	76 名
商品開発・マーケティングセミナー 第1弾「超成熟市場での価値創造の新たなマーケティング」	11月26日	メルパルク 京都「研修室 3」	HHP有限責任事業組合 代表 中国・西安交通大学管理学院客員教授 林廣茂 氏 味の素冷凍食品株式会社 代表取締役社長 吉峯 英虎 氏	40 名
商品開発・マーケティングセミナー 第2弾「新興市場での価値創造の新たなマーケティング～資生堂の中国ビジネスとブランド価値創造～」	平成27年 1月21日	京都リサーチ パーク「サイエ ンスホール」	HHP有限責任事業組合 代表 中国・西安交通大学管理学院客員教授 林廣茂 氏 株式会社資生堂 顧問 高森 竜臣 氏	58 名

(4) IT（情報技術）の活用

ア 広域連携ネットワーク整備事業

「京都デジタル疎水ネットワーク」接続サービス等の提供

イ IT活用促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

①Web マーケティング研究会

Webメディア（ホームページ、blog、Facebook、Twitter等のソーシャルメディア）を活用した商品プロモーションや商品販売等が行えることを目指して、「Webメディア戦略」の策定やホームページ、blog、ソーシャルメディアの制作など、実践的な口座を実施した。

開催期間：平成26年10月10日～12月5日の隔週金曜日（計5回）

受講者数：12名

評価：講座修了後のアンケート（回答者数8名）では、「難しかった」が88%と苦心はされていたものの、「大変参考になった」「参考になった」が100%と高評価であり、「大変充実した内容であった」「自社のコンテンツに足りない部分が見えた」等の意見があった。

②IT経営セミナー

京都府内の中小企業のIT経営を促進するために、IT経営を実践し多大な効果を上げている事例を紹介し、IT経営の必要性・有効性等に気づいてもらうことを目的に開催した。

開催日：平成26年12月11日

受講者数：18名

評価：講座修了後のアンケート（回答者数18名）では、「大変参考になった」「参考になった」が100%と高評価であり、「現場のIT化がよくわかった」との意見があった一方で、「システムについてもう少し詳しく聞きたかった」との、より具体的な内容についての意見があった。

（5）貿易・海外市場の進出

ア 京都企業アジア市場開拓支援事業（京都府補助金 「Kyoto Japan」 海外市場販路拡大推進事業補助金）

①上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の活動

職員5名（日本人2名、中国人3名）及びコーディネータ23名の協力を得て、中国（香港・台湾含む）への進出を目論む府内中小企業や既に進出している京都企業への支援活動として、経済投資情報の提供を行うとともに、販路開拓、事業提携、会社設立等の相談に応じた。

a) 相談実績

年間相談件数：267件

相談内容：販路開拓の相談が約40%を占め、中国での販売拡大に関するものが多い。

活動内容：平成23年度より、中国内の自動化設備の受注を目的とした「京都自動設備支援ネットワーク（チーム京都）」を運営しており、平成26年度も販路開拓活動を支援した。

伝統工芸・物産関係の販路開拓支援としては、マーケティング活動ができる現場の確保と個別企業の海外販路開拓の伴走支援を行った。

表 35 相談実績（業種別）

業 種	相談 企業数 (実数)	相談・ 面談 延件数	内 訳											小計
			経営 全般	販路 開拓	法律	労務	税務	海外 調達	貿易	事業 提携	会社 設立	特許	その 他	
製 造 業	35	74	6	29	1	0	0	3	1	17	0	0	17	74
卸 売 業	17	37	1	25	0	0	0	2	1	3	0	0	5	37
建 設 業	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小 売 業	12	38	3	18	0	0	0	0	0	10	1	0	6	38
サービス業	37	70	0	34	0	1	0	0	2	12	0	0	21	70
そ の 他	5	47	1	4	0	0	0	0	0	34	0	0	8	47
小 計	106	267	11	111	1	1	0	5	4	76	1	0	57	267

b) 情報収集関係（政府関係、開発区等への情報収集等）

- ・鄭州開発区訪問 平成 26 年 4 月 7 日
- ・江蘇省常熟開発区訪問 平成 26 年 4 月 22 日
- ・江蘇省启東市政府の職員来所 平成 26 年 6 月 4 日（8 月 8 日には現地訪問）
- ・波市外事弁公室との文化交流 平成 26 年 10 月 30 日～11 月 1 日
- ・常州市中関村政府職員来所 平成 26 年 12 月 3 日
- ・佛山市順徳区商務委員会 平成 27 年 3 月 3 日

c) 京都企業交流会

- ・昆山の物産展 平成 26 年 5 月 16 日（参加者：18 名）
- ・高島屋京都物産展 平成 26 年 11 月 28 日（参加者：25 名）
- ・ものづくり商談会（京都銀行主催）平成 26 年 9 月 3 日（参加者：約 100 名）

d) 物産関係の主な活動

- ・国際物産展（昆山） 平成 26 年 5 月 14 日～16 日
- ・バイヤーの日本招聘会 平成 26 年年 6 月 17 日（ジェイシンパートナー）
平成 26 年年 8 月 18 日（上海高島屋）
- ・バイヤー招聘商談会（京都商工会議所主催） 平成 27 年 3 月（中国から 5 社が参加）
- ・個別企業支援

e) 製造業関係の主な活動

- ・昆山輸入設備展示会 平成 26 年 5 月 14 日～16 日
（チーム京都でブースを設け 5 社が参加）
- ・日中ものづくり商談会@上海 平成 26 年 9 月 3 日～4 日
（京都企業 37 社参加）
- ・日中ものづくり商談会@広東 平成 26 年 11 月 20 日～22 日
（京都企業 10 社参加）

f) その他の活動

- ・上海工芸礼品博物館「日中韓展示会」 平成 26 年 6 月 7 日開幕式参加
- ・京都学園大学のインターンシップ生受入
- ・日中地方自治体連絡会議（北京クレア主催 貴州貴陽） 平成 26 年 8 月 22 日

- ・日本への投資説明会（上海工商聯、大阪府と共同開催） 平成27年1月21日
（参加者：50名）
- ・舞鶴港クルーズ船誘致活動支援 3月18日訪問 京都舞鶴港の整備状況の説明

②販路開拓事業

a) 製造業支援

ものづくり展示会出展支援

◆「日中ものづくり商談会@上海」

会期：平成26年9月3日（水）～4日（木） 場所：上海マート

アテンド 6社 成果：有望案件7件

京都企業出展：37社（全体約600社）

商談件数：462件 成約可能性件数：112件

◆「日中ものづくり商談会@広東」

会期：平成27年11月20日（木）～22日（土） 場所 琶洲国際会展中心

アテンド 3社 成果：有望案件 3件

◆チーム京都プロジェクト支援

京都府における自動設備等の製造に関する企業が連携を密にし、拡大する中国市場における事業活動の発展と、厳しい国内事業環境の克服に寄与することを目的として運営。

平成26年度参画企業：29社

海外メーカーとの取引あっせん

中国にある引き合い情報を共有化し、参画企業の事業拡大に結びつけるための活動を継続的に行った。

成約件数 2件

年間活動

- ・第1回京都例会（出席者22名） 平成26年6月4日
- ・第2回京都例会（出席者24名） 平成26年8月7日
- ・日中ものづくり商談会@上海 京都府ブースにて出展 平成26年9月3・4日
- ・第3回京都例会（出席者12名） 平成26年10月9日
- ・日中ものづくり商談会@広東 京都府ブースにて出展
平成26年11月20～22日
- ・第4回京都例会（出席者13名） 平成26年12月11日
- ・京都ビジネス交流フェア ものづくり加工技術展 出展
平成27年2月18・19日
- ・H26年度 総会（出席者15名） 平成27年3月26日

「Osaka & Kyoto 京阪投資セミナーin 上海」

日程 平成27年1月21日（水）

会場 ウェスティン上海

参加者数 ： 約50名

内容 上海市工商業連合会所属企業に対し、京都府と大阪府から誘致に関するプレゼンテーションを行った。

b) 物産関係支援

◆老舗の逸品販路開拓事業

海外バイヤー招聘事業・訪日ミッション事業

- ・香港 千賀屋 食品バイヤー招聘 平成26年4月7・8日
京都の食材販路開拓について 7社訪問
- ・中国 上海工芸禮品博物館 訪日ミッション 平成26年5月7～9日
伝統工芸会館、京都府教育委員会文化財保護課、京都伝統工芸大学校
- ・フランス食品バイヤー（A サールシェヌニエシェムニ氏）招聘
平成26年5月15日
食品関係企業7社訪問
- ・中国 ジェイシンパートナーズ 食品バイヤー招聘 平成26年6月16・17日
食品関係企業15社と商談
- ・中国 上海高島屋バイヤー招聘 商談会 平成26年8月18・19日
工芸品関係企業22社と商談
- ・米国 MITSUWA KC セトル貿易 バイヤー招聘 平成26年9月10・11日
食品関係・伝統工芸品関係37社と商談（商談企業21社、書面商談企業16社）
- ・台湾 ムーストレーディング 食品バイヤー招聘 平成26年9月24日
食品関係14社と商談
- ・中国 煙波 工芸品バイヤー招聘 平成26年12月11日
京焼等5社訪問
- ・中国 仲山商事 工芸品バイヤー 商談会 平成26年12月16・17日
工芸品関係30社と商談
- ・中国 訪日ミッション 寧夏回族自治区工業団地 京都視察 平成27年1月28日
訪日団 29名
- ・中国 御谷國際股分有限公司 中国食品バイヤー招聘 平成27年1月23日
食品関係企業3社訪問
- ・フランス UMAMI 食品バイヤー招聘 平成27年2月20・21日
食品関係企業5社訪問
- ・中国 上海甜源貿易有限公司 食品バイヤー招聘 平成27年2月27・28日
食品関係企業4社訪問
- ・JETRO ビジネス提携交流会 商談会 平成27年3月5・6日
海外観光企業5社と京都企業18社との商談及び現地視察
- ・シンガポール BANCHOON 食品バイヤー招聘 平成27年3月9・10日
舗九品関係企業との商談会：10社 訪問：5社
- ・JETRO 中国・香港・台湾・アセアン工芸品・日用品関係招聘
平成27年3月10～13日
工芸品・日用品関係バイヤー 29社
中国：15社（北京2、上海2、大連2、広州2、青島1、武漢1、成都1、香港4）
アセアン14社（バンコク3、ジャカルタ1、ハノイ3、ホーチミン2、クアラルンプール3、ヤンゴン2）
商談会参加企業 122社/全体 京都企業：41社
- ・シンガポール EURACO 食品バイヤー招聘 平成27年3月17・18日
食品関係企業7社訪問
- ・英国 ロンドンJapan Center 京都物産展開催説明会&個別商談
平成27年3月19日

◆物産展・展示会事業

〈展示会〉

- ・中国 昆山ブランド産品輸入公明会 2014 平成26年5月14～16日 3日間
場所 昆山国際会展中心 中国江蘇省昆山市卯
内容 JETRO と協業し JETRO JAPAN ブースに出展
金属加工及び自動化展示会 4小間 5社出展
ブランド消費財展示区 10小間15社出展
成果：約57,000円（1元：16円）＝912,000円
- ・中国 上海 Home & Gifts Shanghai 平成26年8月29～31日 3日間
場所：中国上海市 上海マート4階
内容 工芸品・食品関係4社
成果：商談件数：8件 ・サツフル販売：15,000円（1元：17円）＝255,000円
- ・中国 深圳 Home & Gifts 平成26年10月20～23日 4日間
場所 中国 深圳市 深圳国際展示場
内容：工芸品関係4社
成果 商談件数：33件 ・サツフル販売：55,000円（1元：17.7円）＝973,500円

〈物産展〉

- ・「台湾 台北 太平洋SOGO 日本商品展
平成26年10月7日～19日 13日間
場所：台湾 太平洋SOGO 忠孝館
内容：京都をはじめとする関西の商品を中心とした物産展
参加企業数：85社 うち京都企業38社（食品関係：31社、工芸関係：7社）
成果・売上：10,926,969円（1台湾元：3.5円）＝38,244,391円（京都のみ）
- ・中国 上海高島屋 JAPAN FAIR 古都展
平成26年11月27日～12月7日 11日間
場所 中国 上海高島屋3階特別活動区
内容 8月に開催したバイヤー招聘商談会において成約された企業19社を中心に開催
販売促進 金箔タイルの絵師による絵付け体験
オリジナルトート及びTシャツへの名入れ体験
オリジナルプレスレット体験
成果・売上：約400万円
- ・中国 香港 SOGO 京尾物産展 in 香港 平成27年2月25日～3月3日 7日間
場所 中国 香港 SOGO 地下2階（食品フロア催事スペース約80㎡）
内容 21社参加 食品関係：14社 工芸関係：7社
成果・売上：約1,500万円
- ・米国 MITSUWA トーランス店・ニュージャージー店 京都物産展
平成27年3月13～23日 11日間
場所 トーランス店 米国カリフォルニア州
ニュージャージー店 米国ニュージャージー州
内容 9月に開催した商談会において成約された企業と現地での実演販売、委託販売ができる企業を中心に出展
食品関係：14社 工芸関係：2企業・団体

成果・売上：約 1,000 万円

イ 京都イタリア中小企業交流支援事業（京都府受託金）

2004 年にフィレンツェで開催されたフィレンツェ・京都姉妹都市提携 40 周年記念式典以来、京都府とフィレンツェの交流窓口として「京の若手職人育成プログラムフィレンツェ派遣」等京都府プロジェクトの企画補助及び京都府・トスカーナ州経済交流事業を推進するため、現地専門家を雇用し、経済交流事業の支援業務を行った。

展示会出展（artigianato） 平成 26 年 4 月 24 日～5 月 1 日

出展企業数 9 社

ウ 海外ビジネスサポートセンター事業（京都府補助金「Kyoto Japan」海外販路拡大推進事業補助金）

京都府海外ビジネスサポートセンターに専門の相談員を配置し、国際ビジネスに関する相談に応じるほか、海外の経済・貿易・投資などの情報提供や貿易投資セミナーの開催等を実施し、府内中小企業の国際化を支援した。

①貿易・海外投資に係る相談

貿易、海外投資に係る相談に対して、アドバイザーが助言や情報提供を行った。相談案件に対して汎用的な対応方法等をアドバイスするのではなく、相談案件を詳細に検証し、具体的な対応方法等をアドバイスするようにした。

表 36 海外ビジネスサポートセンターの相談件数（相談区分別）

業 種	相談 件数	内 訳								
		経営 相談	貿易	近状 報告	事業 提携	情報 交換	特許・ 知財	展示 会・セ ミナー	補助 金関 連	その 他
一般機械器具	17	4	10	1	0	0	1	0	0	1
電気機械器具	5	0	4	0	0	1	0	0	0	0
金属製品製造業	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
精密機械器具	5	0	1	1	0	0	1	0	1	1
繊維工業	6	1	1	0	3	0	0	1	0	0
その他の製造業	6	2	1	1	1	0	0	1	0	0
化学工業	6	1	3	2	0	0	0	0	0	0
金融機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品関連業 （製造、卸売、販売）	37	4	4	6	8	0	0	5	1	9
工芸品 （製造、卸売、販売）	10	0	2	3	0	1	0	1	0	3
各種商品小売業	8	1	1	3	0	0	0	1	0	2
専門サービス業	19	0	17	0	0	2	0	0	0	0
外国公務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	44	11	18	0	7	3	0	2	0	3
合計	165	24	62	17	20	7	3	11	2	19

表 37 国別相談件数

業 種	相談 件数	国別（延べ）										
		中国	韓国	台湾	香港	タイ	マレー シア	ベト ナム	シンガ ポール	USA	EU	その 他
一般機械器具	17	10	2	1	0	2	0	0	0	0	0	3
電気機械器具	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
金属製品製造業	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
精密機械器具	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2
繊維工業	6	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	2
その他の製造業	6	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	2
化学工業	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
金融機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品 製造、卸売、販売	37	4	0	7	2	0	1	0	10	3	9	6
工芸 製造、卸売、販売	10	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	6
各種商品小売業	8	5	0	4	0	1	1	0	1	0	1	2
専門サービス業	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
外国公務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	44	8	6	3	1	1	4	2	2	1	1	15
合計	165	34	11	16	5	4	9	5	13	7	13	63

表 38 海外ビジネスに関連するセミナー開催実績

	開催日	セミナーのタイトル	講師	受講者数
1	5月16日	輸出販売ビギナー企業 交流会	山田 真一 海外ビジネスセンター	9
2	6月23日	展示会、商談会の ビギナー勉強会 第1回	山田 真一 海外ビジネスセンター	6
3	6月26日	展示会、商談会の ビギナー勉強会 第2回	山田 真一 海外ビジネスセンター	
4	6月30日	展示会、商談会の ビギナー勉強会 第3回	山田 真一 海外ビジネスセンター	
5	7月3日	展示会、商談会の ビギナー勉強会 第4回	山田 真一 海外ビジネスセンター	
6	7月7日	展示会、商談会の ビギナー勉強会 第5回(最終回)	山田 真一 海外ビジネスセンター	
7	7月25日	海外見本市活用勉強会	水田 明里, 中川 博司 ジェトロ	35
8	8月19日	欧州食品ビジネスセミナー	田辺 智樹, 安田 憲世 ジェトロ	59
9	12月17日	見積書作成体験勉強会	山田 真一 海外ビジネスセンター	5
合計				114

エ 農産物輸出ビジネス支援事業（京都府補助金 京都府農産物輸出ビジネス支援事業補助金）

①輸出相談窓口設置事業

農産物等の輸出に関する相談業務等を行うため、窓口となるコーディネータ1名を配置し、農業ビジネスセンター京都との連携により、府内農産物等の輸出ビジネスを支援した。

[平成26年度相談対応件数：60件]

②農産物等輸出サポート隊設置・派遣事業

海外展開を目指す京都府内の農業生産者等に対し、民間の専門家を派遣し具体的課題に関する助言・指導を行う民間の専門家9名をサポート隊として組織。意欲のある農業生産者等の販路拡大等を支援するため、台湾、香港で行った販促活動等に対するアドバイス要請などに応じて、サポート隊を派遣した。

[平成26年度派遣回数11回（平成25年度 派遣回数12回）]

（6）京都府中小企業応援隊事業（京都府補助金 京都府中小企業応援事業補助金）

中小企業等への訪問を中心としたコンサルティングを行い、現地現場主義にたって企業の強みや弱みを把握した上で、経営の安定・改善からイノベーションなどの創出に繋げるサポートを実施した。

訪問支援企業数：1,920社 訪問延べ相談企業数：3,258社

窓口支援企業数：1,208社 窓口延べ相談企業数：2,011社

訪問創業支援企業数：22社 訪問延べ創業相談企業数：25社

窓口創業支援企業数：161社 窓口延べ創業相談企業数：236社

ア 中小企業小さな革新支援事業（京都府補助金 京都府中小企業応援事業補助金）

経営の安定と成長、創業に向けた応援隊員のコンサルティングの結果、中小企業者等が実施する経営改善につながる取組みやイノベーションへ取組む企業を支援するため、17事業者に上限10万円を、創業の取組み支援として4事業者に上限20万円の補助金を交付した。

また、平成26年8月豪雨で罹災した事業者の復旧の取組みを支援のため、1事業者に対し、上限10万円の補助金を交付した。

表39 中小企業小さな革新支援事業交付実績

支援区分	交付企業数	交付総額(千円)
通常支援	17	1,672
創業支援	4	800
復旧応援事業	1	100
合 計	22	2,572

イ 中小企業等設備再建支援事業（新規 京都府補助金 中小企業等設備再建支援事業補助金）

平成26年8月豪雨で被災した中小企業者等の生産設備等の再建を支援し、早期の復旧・復興を緊急支援した。

表40 中小企業等設備再建支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
9月5日～1月14日	2	2	1,276

3 経営革新・企業の連携・新事業の展開

(1) 経営・事業計画

ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業（京都府受託金）

①京都府元気印中小企業認定、経営革新計画の承認の支援

平成 26 年度の元気印認定企業数は 32 件（平成 19 年度以降累計 177 件）、経営革新承認企業数は 22 件（平成 12 年 1 月以降累計 583 件）であった。

※平成 25 年度元気印認定企業数 18 件、経営革新承認企業数 29 件

②京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進

a) 京都府元気印中小企業認定制度の普及・推進

京都府中小企業応援条例に基づく研究開発等事業計画の認定申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・意見聴取を実施した。また、認定後 1～2 年の企業を対象に円滑な事業実施を支援するため、事業計画の進捗状況をもとにフォローアップ調査を実施した。

表 41 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調 査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	意見聴取会議開催回数・案件数
19 回	18 件	18 件	5 回	5 回・18 件

b) 経営革新計画の普及・推進

中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）の経営革新計画承認申請に関する相談・受付・調査を実施した。（7 月までプレゼンテーション・ブラッシュアップ・意見聴取を実施）また、承認後 1～2 年の企業を対象に円滑な事業実施を支援するため、事業計画の進捗状況をもとにフォローアップ調査を実施した。

表 42 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調 査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	意見聴取会議開催回数・案件数
32 回	24 件	24 件	4 回	4 回・24 件

c) 経営革新塾の実施

京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進のため、経営革新塾を実施した。

・経営革新塾 平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月（13 回） 参加：6 社

イ 地域産業研究開発支援事業（特定資産運用益）＜技術顕彰（京都中小企業技術大賞等）＞

技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)の実施

新製品・新技術の開発に成果を上げ、京都産業に貢献した府内の中小企業及びその技術者を京都中小企業技術大賞、優秀技術賞、特別技術賞及び優秀技術者賞として顕彰し、平成 27 年 2 月 18 日に表彰式を実施した。

◆京都中小企業技術大賞（1 社）

開発した技術または製品名	企業名	代表者
ICP 用気体導入システム	(株)ジェイ・サイエンス・ラボ (京都市南区)	代表取締役 河合 龍三郎

◆京都中小企業特別技術賞（１社）

開発した技術または製品名	企業名	代表者
「糸への草木染」量産技術の確立	(株)村田染工 (京都市中京区)	代表取締役 村田 正明

◆京都中小企業優秀技術賞（５社）

開発した技術または製品名	企業名	代表者
マイクロスマートグリッドシステム 「I_DENCON」	(株)アイケイエス (京都市中京区)	代表取締役社長 今井 尊史
飲料缶用全自動濃度見当制御システム (CIS)	アイマー・プランニング(株) (京都市伏見区)	代表取締役 山崎 憲司郎
SAKAパーソナルコンプレッサー	(株)坂製作所 (京都市右京区)	代表取締役 坂 栄孝
アルミダイカスト製鉄道車両シート	住江工業(株) (京田辺市)	代表取締役社長 兼子 恒彦
蒔絵・箔等「高級転写シール」	(株)東洋レーベル (京都市右京区)	代表取締役 吉川 弘

◆京都中小企業優秀技術者賞

当該受賞技術の開発に貢献した技術者２４名

ウ 知恵の経営の推進

京都府知的財産総合サポートセンター事業として一般社団法人京都発明協会が運営する「知恵の経営」評価・認証の取り組みについて、評価委員会へ出席するとともに、京都府中小企業技術センターと知財、技術、経営のワンストップサービス提供支援を行った。

また、京都商工会議所が取り組む知恵ビジネス推進事業と連携した事業展開を図った。
(評価委員会開催 ５回)

(２) 起業・創業・事業継続

ア 中小企業事業継続支援事業（京都府補助金 中小企業事業継続支援センター事業）

京都中小企業事業継続支援センターでは、京都府の「中小企業事業継続支援事業」（委託事業）を受託し、起業家・アーリーステージ企業及び中小企業者における起業（アーリーステージ期を含む）、後継者不在企業等の発掘、事業承継等の局面にある企業に対し、コーディネータによる伴走支援やミライミーティングによるマッチングを実施するなど、企業の事業継続を図った。

①後継者不在企業等の発掘

a) 京都事業継続・支援ネットワーク参画支援機関からの情報収集

オール京都の官民の支援機関が参画し支援の輪をつなぐプラットフォーム「京都事業継続・起業支援ネットワーク」に参画する各支援機関相互間の情報共有及び起業、事業承継、事業転換における事業継続課題に対する連携支援を図るため、支援ネットワークの拡大に努め、参画支援機関は平成 25 年 6 月の推進協議会キックオフ会議時の 43 機関から 76 機関へと広がった。

表 43 京都事業継続・起業支援ネットワーク関係会議等開催実績

開催日	内容	備考
平成26年 6月25日	第9回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都リサーチパーク 出席者：143名 (よろず支援拠点中小企業応援セミナー併催)
平成26年 10月28日	第10回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都リサーチパーク 出席者：38名
平成27年 3月26日	第3回「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」	開催場所：京都リサーチパーク 出席者：32名

b) 後継者特別相談デーの開催（合計23回）

毎月第1、第3月曜日にコーディネータが、後継者不在、後継者育成等に不安を持つ中小・小規模事業の経営者を対象にした相談に対応

○場所：京都府産業支援センター

c) 後継者特別相談ブース出展

○日時：2月18日、19日

○場所：京都ビジネス交流フェア（京都府総合見本市会館）

○内容：出展者、来場者への普及啓蒙、窓口相談

d) 後継者不在企業等へのダイレクトメール送付

○送付件数：2,033件

○抽出条件：京都府本社の中小企業で最新期黒字かつ代表者50才以上で後継者がいないか未定又は未詳のところ

○発送時期：平成27年1月

e) 広報活動

○ホームページ「京都起業・承継ナビ」による支援情報の発信

○Webページの制作（事業紹介等）：計6回

○チラシ作成（相談デー、セミナー等）：計10種類

○新聞等広告：計3回

表 44 ホームページ「京都起業・承継ナビ」運用状況

区分	内容
登載情報の概要	・「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」参画支援機関等における、起業（アーリーステージ期を含む）、事業承継、事業転換のステージ別、経営戦略、人材確保、拠点確保、資金調達、技術支援、販路開拓等に係る官民の支援情報を登載。 ・支援カレンダーで支援情報が検索可能
支援情報の登載件数	3,095件（平成26年4月～27年3月末） ＊1日当たりの平均登載件数：8件
アクセス件数	合計 45,608件（平成26年4月～27年3月末） ＊「京都 起業」、「京都 事業承継」等での検索順位1位。

②コーディネータ、専門家による伴走支援

a) コーディネータによる伴走支援

企業経営に関する専門的知識を有するコーディネータによるハンズオン支援を実施。

○支援ネットワークでの相談対応 : 2, 821件

○事業継続支援センターでの相談対応 : 2, 171件

○事業継続支援センターでのサポート対応 : 513件

○事業承継モデル支援事例（重要支援先） : 23社

b) 専門家派遣による支援

中小企業診断士や税理士などの専門家を派遣し、事業承継や処遇改善などの課題解決を支援。

○専門家派遣 : 19社 計93回

③後継者不在企業等と新規経営候補者等とのマッチング

オープン形式によるマッチング事業「ミライミーティング」4回に加え、京都ジョブパーク等との連携による個別マッチング2回を実施。後継者マッチング事業（ミライミーティング等）では後継者不在企業等8社の募集に対し、のべ28名がマッチング事業に参加し、12名に面接実施。最終的に、3社3名のマッチングが成立。

表 45 「ミライミーティング」開催実績

開催日	内容	開催場所
平成26年 12月6日	第1回ミライミーティング 求人企業 1社（翻訳業） 企業説明参加者 2名	京都府産業支援センター
平成26年 12月20日	第2回ミライミーティング 求人企業 1社（金属加工業） 企業説明参加者 6名	京都府産業支援センター
平成27年 1月31日	第3回ミライミーティング 講演：「後継という創業」 静岡県事業引継センター 総括責任者 清水至亮氏 （参加者23名） 求人企業 2社（食品製造業、紙加工品製造業） 企業説明参加者 12名	京都リサーチパーク
平成27年 2月24日	第4回ミライミーティング 講演：「知っていて良かった！銀行に信用される会社」 株式会社青い鳥総合経営 代表取締役 松田茂氏 （参加者12名） 求人企業 2社（和菓子製造業、小規模旅館） 企業説明参加者 8名	メルパルク京都

④事業継続に関わるセミナーの開催

事業承継に関する普及啓発や支援先事業者の掘り起こしのために、事業継続に関わる事業継続オープンセミナーを3回開催し、延べ118名が参加。

表 46 「事業継続オープンセミナー」開催実績

開催日	内容	備考
平成 26 年 9 月 19 日	第 1 回事業継続オープンセミナー ○講演「知らなかったでは済まされない！ 資産対策のポイント」 三井住友海上経営サポートセンター アドバイザー 斎藤英樹氏 ○講演「事業継承支援資金制度のご案内」 日本政策金融公庫京都創業支援センター 所長 金子孝幸氏	開催場所：ハートンホテル 京都 参加者：36 名
平成 26 年 12 月 4 日	第 2 回事業継続オープンセミナー ○講演「地域金融機関による M & A を活用し た親族外承継について」 京都銀行営業支援部地域密着型金融推進室 調査役 林良介氏 ○講演「具体例で学ぶ 役員・社員への親族 外継承について」 日本プライベートエクイティ株式会社 代表取締役 法田真一氏	開催場所：メルパルク京都 参加者：39 名
平成 27 年 1 月 31 日	第 3 回事業継続オープンセミナー ○講演：「日本のものづくり～起業と継承にス ポットを当てて」 ゼネラルプロダクション株式会社 代表取締役 石崎義公氏	開催場所：京都リサーチパ ーク 参加者：43 名

イ 元気企業・旗揚げ促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

起業家セミナーの開催

各分野で起業を目指している方、または創業間もない方を対象に、企業経営における課題や問題点等を解決するため、必要なスキルや知識を学ぶとともに、ビジネスプランの作成方法、税務・財務知識など基礎的な知識と実践力をつけることを目的に起業家セミナーを開催した（平成 26 年 10 月 11 日～11 月 29 日（全 7 回））。

受講者の公募（8 月 8 日～9 月 19 日） 受講参加者 45 名

ウ 地域需要創造型等起業・創業促進事業（創業補助金）の京都府事務局受託業務

（新規 中小企業庁受託金）

創業及び第二創業を支援するため、平成 25 年度国補正予算（中小企業庁）の「創業補助金（創業促進補助金）」の京都府事務局業務を受託。基金設置法人の中小企業基盤整備機構との間で委託契約を締結し、相談、創業補助金説明会開催、応募書類受付、書面審査、地域審査委員会等の手続を経て採択事業者を決定するとともに、交付決定を行った。

また、昨年度受託した平成 24 年度国補正予算（中小企業庁）の「地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）に係る京都府事務局業務として補助金事業が終了した企業に対し確定検査を実施し、その結果に基づいて中小企業基盤整備機構に対し補助金請求を行った。

「平成25年度国補正予算（中小企業庁）創業補助金（創業促進補助金）制度」

- ・創業補助金 100～200万円
- ＊補助率は2／3以内
- ・対象経費 人件費、事業費、委託費

表 47 「平成 25 年度補正予算創業補助金（創業促進補助金）」採択件数

	採択件数
先行審査分（交付決定：平成26年6月2日）	5件
最終審査分（交付決定：平成26年10月1日）	36件
合 計	41件

「平成24年度国補正予算（中小企業庁）地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）制度」

- ・「地域需要創造型起業・創業」補助金 100～200万円
- ・「海外需要獲得型起業・創業」補助金 100～700万円
- ・「第二創業」補助金 100～500万円
- ＊補助率はいずれも2／3以内
- ・対象経費 創業事業費、販路開拓費

表 48 「地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）確定検査等実施件数

募集	創業補助金の種類	確定検査・補助金請求件数
第1回募集 （受付期間：3月22日～4月22日） 第2回募集 （受付期間：5月22日～6月28日） 第3回募集 （受付期間：9月19日～12月24日）	地域需要創造型起業・創業	32件
	海外需要獲得型起業・創業	8件
	第二創業	5件
	計	45件

エ ベンチャー支援事業関連審査等の実施

学識経験者、ビジネス・スーパーバイザー、企業財務専門家、法律専門家、行政機関等で構成する「ベンチャー事業可能性評価委員会」（委員長：松波弘之 京都大学名誉教授）を設置し、京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業、中小企業 R&D 支援事業の提案申請やけいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム入居などに関連する審査等を11回実施した。

オ 京都経営品質協議会の運営支援（京都経営品質協議会受託金）

京都経営品質協議会の事務局を受託し、協議会の運営に当たるとともに経営品質に関する各種講座、セミナー等を開催し、経営品質の普及・啓発を図った。

①京都経営品質協議会

- ◆ 設立年月日：平成17年9月21日
- 会員数（平成27年3月末現在）：79社（者）

【正会員70 うち中小・個人55 NPO2 その他13 特別会員9】
 ◆事務局：京都府、京都商工会議所、（公社）京都工業会、（公財）京都産業21

表 49 幹事会・運営委員会の開催実績

名 称	開 催 日	参 加	会 場
第1回運営委員会	平成26年4月17日	12名	京都府産業支援センター 会議室
第2回運営委員会	7月29日	12名	
第3回運営委員会	9月29日	12名	
第4回運営委員会	11月10日	13名	
第5回運営委員会	12月4日	15名	
第6回運営委員会	平成27年1月16日	14名	
第7回運営委員会	2月5日	12名	
定例幹事会	3月24日	25名	京都府庁 職員福利厚生センター

表 50 各種講座等の開催実績

名 称	開催日	会 場	講師等	受講者数
第1回経営品質 オープンセミナー	平成26年 6月19日	京都リサーチ パーク	西精工(株) 代表取締役社長 西 泰宏氏 (株)京進 代表取締役社長 白川 寛治氏 (株)マーケティングプロモーションセ ンター 代表取締役 岡本 正耿氏	153名
第2回経営品質 オープンセミナー	9月22日	ハートピア京 都	滋賀ダイハツ販売(株) 代表取締役社長 後藤 敬一氏	65名
第3回経営品質 オープンセミナー	10月24日	滋賀ダイハ ツ販売(株)	滋賀ダイハツ販売(株) 代表取締役社長 後藤 敬一氏 他 京都経営品質協議会 参与 安倍 泰生氏	31名
第4回経営品質 オープンセミナー	平成27年 1月20日	京都リサーチ パーク	(株)ワン・ダイニング 代表取締役社長 高橋 淳氏	72名
受賞企業研究会	平成26年 5月29日	(株)京進	(株)京進 取締役 企画本部長 高橋 良和氏	14名
経営革新の基礎 コース	7月14日	京都府産業支 援センター	経営品質協議会インストラクター 足立 裕氏	9名

アセスメント基準説明会 「アセスメント基準解体新書」	7月15日	京都府産業支援センター	経営品質協議会インストラクター 田村 均氏	10名
第1回課題解決セミナー	10月22日	京都府産業支援センター	NPO 法人場とつながりラボ home' svi 代表理事 嘉村 賢州 氏	8名
第2回課題解決セミナー	12月2日	京都府産業支援センター		9名
アセスメントコース A1（基礎編）	10月 15、16日	京都府産業支援センター	経営品質協議会インストラクター 三宅 邦之氏	8名
アセスメントコース A2（知識編）	11月 13日、14日	京都府産業支援センター		8名
アセスメントコース A3（評価編）	12月11日、 12日	京都私学会館		10名
そうだったのか！良 くわかる経営品質入 門セミナー	10月21、28日 11月 6、20、26日	京都府産業支援センター	経営品質協議会 参与 小島 一夫氏 (他、京都経営品質協議会 運営委員 3名)	30名

総受講者：427名

②京都経営品質協議会ホームページの運営

平成18年5月から独自ホームページを運営 (<http://www.kyo-quality.jp/>)

(3) 企業連携

ア 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜研究開発型＞（京都府補助金）

府内中小企業を中心とした共同研究グループが行う技術開発の経費を一部補助することで、製品開発の加速化、早期事業化を図ることを目的に実施した。提案テーマの公募を行い、33件の応募があり、ベンチャー事業可能性評価委員会による審査を経て、採択事業19テーマ（事業期間1年間シーズ育成コース（1グループ当たり300万円以内）、試作・製品化コース（同2,000万円以内）、応用・生産技術開発等製品化コース（同5,000万円以内）、いずれも補助率50%及び設備投資型（研究開発型併用版）設備補助（3,000万円以内 補助率15%）・雇用補助（500万円以内、正規雇用者40（障害者の場合50）万円／人）を決定した。

表51 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜研究開発型＞シーズ育成コース採択テーマ

テーマ名	提案分野	代表企業
		構成企業・大学
結晶化を目的とした哺乳類細胞由来蛋白質の大量精製とNanobody製造		株)COGNANO
		(株)チヨダサイエンス(交付対象外)
筋力低下症状を持つ患者の歩行時バックニー軽減を目的とした装具の製品化に向けた研究開発		株)リハビテック
		京都府立医科大学(交付対象外)
ドライアイ研究で用いられる脂質吸引具の開発		株)積進
		京都府立医科大学(交付対象外)

次世代高速小径ホーニング装置の研究開発		(株)日進製作所
		荻野精工(株)
		(株)タンゴ技研(交付対象外)
		京都工芸繊維大学(交付対象外)
ゴーストが出ない太陽光調整ルーバーフィルムを試作		京テック(株)
		(株)麗光(交付対象外)
スマートフォン近距離無線通信技術による京都府の外国人観光客の行動履歴データの取得と活用		(株)ウィリルモバイル
		(株)T-STYLE
自動車法定定期点検の電子記録簿・デジタル機器の開発		京都機械工具(株)
		有限会社コモン

表 52 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜研究開発型＞試作・製品化コース採択テーマ

テーマ名	提案分野	代表企業
		構成企業・大学
全自動定量・混合・打錠生産システム	ライフサイエンス	(株)菊水製作所
		第一三共(株) (交付対象外)
マイクロニードル技術を応用した次世代育毛ヘアケア製品の開発	ライフサイエンス	コスメディ製薬(株)
		京都薬科大学薬剤学教室 (交付対象外)
半導体レーザーを使った子宮頸がん局所温熱療法の実用化	ライフサイエンス	飛鳥メディカル(株)
		名古屋大学医学部附属病院 (交付対象外)
緑色の鮮やかな脱カフェイン抹茶の開発と販売	ライフサイエンス	星野科学(株)
		(株)丸久小山園
新型航空機エンジン用高張力ボルトの革新的製造技術の研究開発	環境・エネルギー	(株)寺内製作所
		(株)IHI 航空宇宙事業本部 (交付対象外)

表 53 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜研究開発型＞応用・生産技術開発等製品化コース採択テーマ

テーマ名	提案分野	代表企業
		構成企業・大学
究極の Nd-Fe-B 焼結磁石製造装置の開発	環境・エネルギー	NDFEB(株)
		日本電磁測器(株)
世界初・京都発“飲料缶表面の全自動曲面印刷機”の開発・事業化	環境・エネルギー	アイマー・プランニング(株)
		(株)日光電機製作所
水素水の高付加価値包材の製品開発とその量産化	ライフサイエンス	テイカ精密(株)
		メロディアン(株) (交付対象外)
環境制御型エコグリーンハウスシステム(EGHS)の実用化・商品化	環境・エネルギー	(株)オーガニック nico
		(株)玉山工業
		有限会社アグリプランニング

表 54 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業＜設備投資型＞研究開発型併用版採択テーマ

世界初・京都発 “飲料缶表面の全自動曲面印刷機” の開発・事業化		アイマー・プランニング(株)
環境制御型エコグリーンハウスシステム(EGHS)の実用化・商品化		(株)玉山工業
「短納期・オーダーメイドの精密心臓シミュレーターの開発と事業化」に伴う量産設備等整備事業		(株)クロスエフェクト

イ 京都企業戦略的共同研究推進事業（京都府補助金）

表 55 連携型イノベーション研究開発事業＜企業連携型＞（平成 25 年度採択分）

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
1	産廃ゼロを目指した工作機械用クーラント・スラッジ処理装置の開発	環境・エネルギー	(株)日進製作所
			(株)ヤマモト
1	革新的炭素めっきのバレル式量産装置の研究開発と事業化	試 作	アイ・エムセップ(株)
			上田鍍金(株)
1	後工程試作サービスの提供に向けた、高性能 LED シリコン樹脂成形装置の製品開発	試 作	(株)山岡製作所
			(株)ニコーテック

表 56 連携型イノベーション研究開発事業＜企業連携型＞（平成 24 年度採択分）

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
2	全蓄電池／EV メーカー即対応インターフェースとこれに接続される相互に並列運転可能な PCS（パワーコンディショナー）の開発	グリーンイノベーション実用化枠	(株)アイケイエス
			平安建設工業(株)
			(株)富士製作所 (株)ITM（交付対象外）
2	革新的節電イノベーション「エコ調理排気フード」の製品開発	グリーンイノベーション実用化枠	ウインドナビ(株)
			(株)三晃空調
			エーエフ工業(株) 三喜ゴム(株)（交付対象外）
2	ナノファイバーの革新的大量生産装置を用いた機能性スポーツ衣料の製品化	ライフサイエンス・ウェルネス	カトーテック(株)
			グンゼ(株)
2	普及型オンチップ HPLC システムの研究開発	環境（一般）	(株)京都モノテック
			(株)エマオス京都（交付対象外）
			島津エンジニアリング(株)
2	世界最小「屋外用超小型撮像装置」の製品化研究開発	ICT・コンテンツ	高槻電器工業(株)
			オムロンソーシアルソリューションズ(株) （交付対象外）

また、オープンイノベーション・コーディネータ4名を配置して、府内企業による共同研究テーマの掘り起こし及び既採択プロジェクトの推進を支援するとともに、京都企業の新たな共同研究の促進を図るための会員制ネットワーク（企業情報、シーズ情報、ニーズ情報のポータルサイト及びコミュニケーションサイト）である京都イノベーション創出ネットワーク（KIC-Net）を活用し、府内企業等による情報交流を図った。

ウ オープンイノベーション連携推進事業（京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト）

- ・産産や産学連携など他者との連携によるプロジェクト形成支援
- ・府内中小企業の取組事例紹介等による普及啓発

エ 京都「企業の森」創造推進事業〔新規 京都府補助金 京都「企業の森」創造推進事業（異業種グループが行う市場調査、試作等支援）〕

1社だけではできない新たな価値を生み出す技術や商品づくりを、企業、大学などのグループで課題解決しながら進める10事業（テーマ）に対し必要経費の支援をした。（1グループ150万円以内、補助率50%）

表57 京都「企業の森」創造推進事業者一覧

No.	テーマ名	提案分野	グループ内代表企業
1	京都伝統工芸企業によるアジアのラグジュアリー層に向けたPR拠点開発、及びアジアの工芸の交流拠点の開発プロジェクト	新文化産業	(株)細尾
			金網つじ
			(株)開化堂
2	新しい“きもの”開発プロジェクト ～NEW KIMONO GENERATION～	新文化産業	吉川染匠(株)
3	京都シルク研究プロジェクト	新文化産業	紫紘(株)
4	文化財デジタルアーカイブの海外ビジネス展開プロジェクト	新文化産業	(特非)京都文化協会
5	シルクシートを用いた細胞培養の足場開発による再生医療分野の事業開拓	ものづくり産業	(株)東京セロレーベル
			カジックス(株)
6	生物機構を模倣した省エネルギー型MEMS開発による機械装置関連分野の事業開拓	ものづくり産業	ニイガタ(株)
7	省エネ閉鎖型植物工場による黒ウコン生産システムの試作と販売	農商工連携による6次産業化	バンテック(株)
8	京都の映像コンテンツ制作のノウハウを用いた研究者・企業・投資家のマッチングサイトの構築	コンテンツ産業	サイエンス・サポーター(株)
			(株)Modelor
			(株)エニアックインターナショナル
9	京都コンテンツを活用したロリィタ市場向け「京ロリ」ブランド構築・新規事業創出	コンテンツ産業	京都リサーチパーク(株)
			(株)エニアックインターナショナル
			(有)鷺野染工場

10	京都の観光・物産・大学等の情報を国内外に動画で一元的に発信するインターネット上の京都チャンネルの開設	コンテンツ産業	スターマーク㈱
----	--	---------	---------

オ 『企業連携のすゝめ』講演と交流のつどい（京都府補助金 基金造成型支援事業京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業）

「企業連携の意義」や「企業連携のあり方」、「効果的な連携の進め方」について、連携を視野にしている企業等を対象に講演や先進事例の紹介を通じて学ぶ場を提供し、企業連携を促進することを目的として講演会と交流会を開催した。

■日 時 平成27年3月17日（火）

■場 所 ホテルグランヴィア京都

■内 容

講演会 テーマ：「企業連携で新たなビジネスを生み出そう！」

講 師：(独)中小企業基盤整備機構近畿本部

統括プロジェクトマネージャー 多田 知史 氏

事例発表Ⅰ テーマ：「イノベーションのジレンマを超えるのは連携力だ！」

～自社単独での取組の限界。企業連携による協働イノベーション～

事例発表Ⅱ ①テーマ：「世界初の技術を生んだ企業連携」

発表者：(株)ナベル本社営業部西日本グループ課長 大橋豊昭 氏

②テーマ：「広がる企業連携の輪」

発表者：(株)ナベル本社営業部西日本グループ課長 矢沢健児 氏

総 括 多田 知史 氏

<93名>

交 流 会 <68名>

カ K I I C（京都産業創造クラブ）事業（正会員会費）

K I I C会員等企業グループによる自主的テーマ別研究会活動の運営を支援するとともに、会員交流を推進した。

①研究会（グループ）活動

a) きょうとマーケティング研究会

参加会員の経営戦略を事例に会員相互の討議を通して、新しい気づきを発見するとともにマーケティングについて研究し、自社の経営に活かすことを目的とする研究会。（17社）

表 58 例会：月1回の開催

開 催 日	内 容	場 所
平成26年 4月8日(火)	平成26年度事業計画、予算について	いもぼう平野屋本店
5月13日(火)	新入会員紹介（マックス） 「(株)タカヤコーポレーション長期事業計画発表」宮西 至氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
6月10日(火)	「メディアコンテンツ時代の事業計画」 講師 京都クロスメディア・クリエイティブセンター増田明彦氏、(株)エースデザイン代表取締役 遠藤士郎氏	KCC

7月8日(火)	「これからのインターネットとエクザムの取組み」 木下豊氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
8月8日(金)	納涼交流会	なぎさのテラス・アンチョビ
9月9日(火)	「実は私、こんなお仕事をしています。」～(株)マックスの夢と希望と現実をお話いたします～上村明美氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
10月14日(火)	「次世代農業 Smart Agriculture の動向」 講師 (株)グランパ顧問 名川知志氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
10月21日(火)	異業種連携京都まつり 2014	ホテルグランヴィア京都
11月11日(火)	「小さな卸業者の Web 戦略」 講師 NPO 法人 ITC 京都 理事 小久保弘氏、(株)仲井硝子瓶商店 滝川さと枝氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
12月9日(火)	「平井株式会社の新事業」京都の地で「いのべーしょん」創出を目指し～平井嘉人氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
平成27年 1月8日(木)	公益財団法人京都産業21 新春賀詞交歓会への参加	ホテルグランヴィア京都
2月10日(火)	「自社の新規事業の紹介と今後について」 (株)みやこコミュニケーションズ 中野雄介氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
3月10日(火)	1.ディスカッション「マーケティング研の意義、今後の展開」 2.「グローバル成熟時代下のローカル事業経営の基本」 講師 MOT アドバイザー 吉田丹治氏	新・都ホテル

b) ライフサイエンス研究会

「環境」と「ライフサイエンス」をキーワードに商品開発を目指す研究会。睡眠に関連する商品を開発しようと月1回、例会を行っている。(4社)

プロジェクト会議等 10回

表 59 講演会等開催状況

開催日	内容
平成26年4月24日(金)	「26年度の取組みについて」
5月28日(水)	「快眠と覚醒、眠気によるリスクと現状の対応について」 講師：サーカディアン・テクノロジーズ・ジャパン(有) 森国 功
6月25日(水)	ディスカッション(新商品マーケティング)
7月23日(水)	ロマンス小杉へ提案 ※会場はロマンス小杉本社
8月27日(水)	ディスカッション(新商品マーケティング)
9月24日(水)	ディスカッション(新商品マーケティング)
10月21日(火)	異業種連携京都まつり 2014
12月24日(水)	ディスカッション(新商品マーケティング)
平成27年1月8日(木)	公益財団法人京都産業21 新春賀詞交歓会への参加
1月28日(水)	「光刺激治療による快眠と、睡眠商品に係る薬機法対応」 講師：すこやかメディカル(株) 代表取締役 山本晃史 氏

2月25日(水)	ディスカッション（新商品マーケティング）
3月25日(水)	ディスカッション（新商品マーケティング）

c) Kyooohoo

京都伝統産業系企業を中心に新商品開発、新市場開拓を目指す研究会。その中で海外事業部会を開催（13社）

プロジェクト会議等 20回

総会 6月3日 事業経過報告、26年度の各種プロジェクトの進捗確認

表 60 展示会出展等

会 期	展示会名等
平成26年 4月24日～5月1日	イタリア フィレンツェ artigianato 出展
5月14日～15日 26日～6月1日	中国 昆山 産品交易会出展 中国 上海 伊勢丹 JAPAN FAIR 出展
6月 6日～22日 19日～25日	台湾 台南新光三越日本商品展出展 中国 上海伊勢丹マーケット展出展
7月 2日～15日	中国 香港 SOGO 出展
8月13日～18日 17日～20日 29日～31日	中国 香港 FOOD EX 出展 米国 NY NOW 出展 中国 上海 GIFT 出展
10月7日～19日 19日～23日 20日～23日	台湾 台北日本商品展出展 フランス パリ SIAL 出展 中国 深圳 GIFT 出展
11月27日～12月7日	中国 上海高島屋京都フェア出展
12月1日～8日 26日～1月6日	イタリア ミラノ artigianato 出展 中国 香港 SOGO 出展
平成27年 1月31日～2月4日	米国 NY NOW 出展
2月25日～3月3日	中国 香港 SOGO 出展
3月19日～23日	米国 MITSUWA 出展

d) きょうとWEBショッパ研究会

会員企業が運営するネットショッパに関して、サイトのグレードアップ、検索上位、成約率の向上を図るため、ネットビジネスの最近の動向、SEO対策などについて、会員相互の交流・啓発を通して①WEBショッパの売上向上②企業活動でのWEB技術活用とイメージアップ（e-コマースへの応用）を行い、実践しているノウハウの共有化や運営上の課題を開示して検討・協力しながらスキルアップに努め、“本気”で月商500万円以上を目指して（すでに月商500万円を達成ショッパ有り）取組むことを目的とする研究会（12社）

表 61 研究会活動報告 〈於 財団会議室〉＊時間は毎回 18:30～20:30

日 時	内 容
講師：有限会社エヌ・エフェクト 代表 名淵 浩史 氏	
平成 26 年 5 月 8 日(木)	・ネットショップの動向と取り組み方 ・新メンバーの事業説明等発表&アドバイス
7 月 10 日(木)	・ネットショップのアクセス対策 ・WEB を利用したビジネス経緯・現状から今後への展望
9 月 11 日(木)	・ネットショップの運用方法
10 月 21 日(木)	「異業種連携京都まつり 2014」出展（ホテルグランヴィア京都）
11 月 13 日(木)	オープン例会 ・アフィリエイトプログラム入門講座 （ゲストスピーカー）(株)ファンコミュニケーションズ（山崎陸男氏）
12 月 11 日(木)	・今年の振り返りによる反省と課題
平成 27 年 1 月 15 日(木)	・来メンバーの取り組み状況の進捗 ・現在のご商売とネットへの取り組み状況等発表
3 月 12 日(木)	・次年度の活動計画について ・会員拡充のためのオープンセミナー検討

②会員交流事業

K I I C会員の情報交換、交流の場を提供することで、新産業創出につながるフォーメーション形成のための環境づくりを目的として講演会・交流会を開催するとともに、会員外の企業にも参加を呼び掛け、加入促進を図った。

日時・場所	内 容	参加者数
平成 26 年 10 月 21 日(火) ホテルホテルグラン ヴィア京都	■ 1 部 講演会（15:00～16:30） ・テーマ：「変革、先進ものづくり立国へ」 ・講 師：株式会社エリオニクス 取締役会長 本目 精吾 氏 ■ 2 部 交流・懇親会（17:00～18:00）	66 名 37 名

キ 新連携異業種交流推進事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

①異業種連携京都まつり 2014

中小企業者を対象とする展示交流会「異業種連携京都まつり」の開催し、多様な企業の市場開拓、新たな連携・交流の場を提供した。

表 62 異業種連携京都まつり 2014

開催日・会場	内 容
平成 26 年 10 月 21 日（火） ホテルグランヴィア京都	①展示交流会 114 小間（110 企業・団体・大学） ・参加者数：1,200 名 ・連携、交流件数：48 社 273 件 ・商談件数 25 社 103 件 ②セミナー 「異業種連携の秘訣」 講師：（独）中小企業基盤整備機構近畿本部 統括アドバイザー 多田 知史氏 <47 名>

②グループ活動への支援

中小企業グループによる自主的な研修や交流などの活動を支援し、グループにより規模や事業内容に違いがあるが、企業間の連携強化や経営知識の習得、経営の改善など、経営向上につながっている。

◆京都産業 21 環の会（KSR）の活動支援

異業種企業による交流事業及び企業連携によるグループ活動を主な事業とする KSR（会員数 200 社）の運営を支援。

表 63 KSR 交流事業の実施状況

開催日・会場	内 容	参加者
平成 26 年 4 月 8 日（火） 建仁寺「燕楽」	KSR ミニキラメキ交流サロン 夜桜を楽しむ会	24 名
6 月 17 日（火） 京都センチュリーホテル	KSR 定期総会 記念講演会 テーマ：「目のつけどころが命～成功の発想力を探る～」 講 師：高橋憲行 氏	60 名
10 月 18 日（金） ～19 日（土）	KSR キラメキ交流サロン 北部研修事業 KTR 上田清和社長講演、田勇機業見学、くろまつ号他	12 名
平 27 年 1 月 22 日（木） 南禅寺「順正」	KSR ミニキラメキ交流サロン 新年交流会	13 名
3 月 6 日（金） KRP	KSR ミニキラメキ交流サロン 「KSR 講演会」 「事業承継の一部始終」講師：最上インクス・鈴木滋朗氏	31 名

表 64 KSR グループ活動概要

グループ名	活 動 概 要
PS21 (Promotion Service)	企業のための“伝わる文章力”を学び、自分の言葉で独自性ある価値を見つけ具現化すべく活動した。全 5 回。
京都産業 21 環（リング）の会 ビジネスリンク	京都産業 21 環（リング）の会参加企業（約 200 社）の有志（ビジネスリンクメンバー）が営業情報（JOB 案件）・技術情報・人材情報をメールリングリスト等を活用して、会員各社のビジネスチャンスの拡大と環（リング）の会の活性化を図っている。また毎月、例会を開催し情報交換を図っている。

経営革新グループ	京都府の「経営革新」承認を目指すグループ。各企業が経営計画を見つめ直し、新たに新事業を含めた経営計画を策定する。旧「知恵の会」から形を変え、26年度より経営革新グループとしての活動開始。全6回。1社が経営革新の承認を受けた。
----------	--

◆京都職人修理ネットの活動支援

京都伝統産業協働バンクから修理・修復に特化した工房が集まった自主活動するグループ（12工房）の活動を支援。（テーマ：「お直し・修理・誂え」）

a) 定例会

原則、毎月第1月曜日（於：財団会議室 18:00～20:00）12回開催

b) 販路開拓

- ・「異業種連携京都まつり2014」出展（10月21日(木)於ホテルグランヴィア京都）
- ・無料お直し相談会 京都府下の公的機関等により14回開催
- ・定例無料相談会（毎月第4水曜日 於：京都試作センター(株)）全12回開催

c) 広報宣伝

- ・広報リーフレットの作成及び配布等

上記の活動により需要に対応した結果、受注等状況は、相談件数292件、売り上げ金額8,306千円となった。（相談会以外では京都試作センターを通じて5,198千円売り上げ）

◆その他のグループ活動支援

「京都マネジメント研究会」「経営基盤強化研究会（K4）」「北部機械金属研究会」等の中小企業グループの運営支援。

表 65 グループ活動支援の実績

グループ名	活 動 支 援		
京都マネジメント研究会	現場改善をテーマとする中小企業グループ（9社）による研究会活動を支援。 ・5S－5T研究会（年6回、メンバー企業において開催） ・トップ交流会（年2回、メンバー企業のトップによる情報交換会および経営革新勉強会を開催）		
	開 催 日	内 容 等	会 場
	平成26年 5月20日(火)	トップ交流会・総会	東天紅
	10月8日(水)	5S研究会 工場見学研修 in 大阪	枚岡合金工具(株)
	12月9日(火)	トップ交流会	セトノム京都

K4 (経営基盤強化研究会)	素晴らしい経営を目指し、それに要する基礎知識や決断と実行の手段を養うため、メンバー（15名）が時間を共有しながら学んで行くことを目的として講師を招いての例会を開催。 26年度のテーマ「変化を敏感に感じよう」		
	開 催 日	テーマ・講師	会 場
	平成 26 年 4 月 7 日(月)	・新旧役員引継ぎ ・年間テーマにそった例会内容の検討 ・スケジュール調整 等	財団会議室
	5 月 1 日(木)	・本年度の進め方について ・新入会員紹介（事業等発表）	京料理「八清」 (京、下京区)
	7 月 2 日(水)	「生活支援ロボット ～ビジネスチャンスの可能性～」 講師：ライフサイエンス推進PJ コーディネーター 加藤義行	財団会議室
	8 月 22 日(金)	・下半期の進め方について ・新入会員抱負と目標	「平和」三条 (京、中京区)
	10 月 27 日(月)	「京文化の不易流行から探る変化の本質」 講師：榮春時 住職 米澤昭博氏	泰澄山榮春寺 (京、伏見区)
	11 月 19 日(水)	【機青連合同 オープン例会】 「今後期待される成長分野と中小企業のものづくり～自動車・医療・航空機分野、シ ェールガス etc～」 講師：(株)産業タイム社 代表取締役 泉谷渉氏	財団会議室
	12 月 25 日(木)	・2014 年活動のふり振り返り	清和荘 (京、伏見区)
北部機械金属研究会	平成 27 年 3 月 4 日(月)	「インドネシア視察報告 ～経産省素形材海外視察団に参加して～」 講師：神戸国際大学経済学部教授 機青連顧問 中村智彦氏	「平和」三条 (京、中京区)
	「お互いを深く知り本音の連絡が取り合える仲間を増やす」を重点活動として取り組む。		

(4) 産学公連携

ア 交流連携促進事業

産学・企業間連携ニーズ調査の実施

府内の製品開発型と思われる中小企業を対象に、企業訪問等により経営課題、産学・産産連携志向などのニーズ情報を収集し、KIC-Net（京都イノベーション創出ネットワーク）への登録勧奨や関連施策の活用促進を行った。

イ 産学公連携研究開発資金支援事業（京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業補助金（産学連携プロジェクト形成・シーズ育成促進））

表 66 産学連携プロジェクト形成・シーズ育成促進事業（平成 25 年度採択分）

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)ナールスコーポレーション	ストレスタンパク質の適応的細胞保護効果を活かした皮膚バリア機能増進物質の開発	京都大学
暁新日本建設(株)	塩分捕捉能に優れた新規マグネシウム系固化材の開発	京都大学
(株)栄養・病理学研究所	ブタへのワクチン接種効果を正確に確認するバイオマーカーの特定と評価法の開発	京都府立大学
(株)ファーマサイエンス	マイニング技術を使った生化合物の薬理性情報解析	京都大学

(株)エスエヌジー	シリカモノリスを応用した核酸医薬固相合成反応担体開発研究	京都大学
(株)リハビテック	ボア制御と立体成型を融合した革新的医療デバイスの創出	京都府立大学
抗菌化研(株)	錯形成を基礎とした生分解性有機無機複合ナノ粒子の開発	京都工芸繊維大学
(株)太鼓センター	和太鼓プログラムによる高齢者の健康増進と社会参加支援	京都大学
信和化工(株)	炭素材料被覆型多孔質シリカを用いた高性能GCカラムの開発	京都大学
(株)中蔵	拡開型地中アンカーの開発	立命館大学

(注) 支援期間1年間(12カ月)(25年度・26年度)、支援助成額3百万円以内

ウ 産学公連携研究開発資金支援事業(京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業補助金(産学公連携型))

表 67 課題解決型研究開発促進事業(平成25年度採択分)

提案企業	テーマ	連携研究機関
日本タブレット(株)	介護市場を見据えた、筋量維持・増進の機能性を有す黒ショウガ製剤の製品化に向けた研究開発	大阪府立大学
(株)カシフジ	内歯車の高能率歯切り加工法を用いた高剛性加工機の製品化	京都工芸繊維大学
(有)シバタシステムサービス	3次元形状軟骨の再生誘導を可能とする超微細加工装置の開発	近畿大学

(注) 支援期間1年間(12カ月)(25年度・26年度)、支援助成額3千万円以内

エ 地域産業育成産学連携推進事業

スマートコミュニティ形成に向け、現在、新たなイノベーションを創出する技術やシステム等の研究開発を行い、本格的な共同研究開発組成前の段階である産学連携グループに対して共同研究開発組成の資金支援を実施し、「けいはんなオープンイノベーションセンター」などの「京都イノベーションベルト構想」の対象地域内の新産業・新事業の創出による地域経済の活性化を図ることを目的に実施した。

表 68 地域産業育成産学連携推進事業

領域	研究開発内容	申請者名
ライフ	心とからだの「幸齢社会」に向けた健康寿命延伸環境の構築	(公財)関西文化学術研究都市推進機構
	高出力小型コードレス超音波凝固装置の開発	(株)衣川製作所
	スマートヘルスと行動経済学介入を応用した健康行動推進プログラムと健康経済算定システム開発	京都大学
	画像ナビゲーション手術のための非侵襲的抹消神経イメージング用マルチポイント検知法の開発	京都府立医科大学

エネルギー・ICT	ナノ Si 粒子を使用した Li-ion 電池の新負極材研究開発	宇治電器工業(株)
	けいはんな学研都市におけるEV先端技術の研究促進および実用化事業	近藤自動車工業(株)
	超高温水蒸気エネルギー利用によるバイオマス由来の水素生成及び指定廃棄物減容化・無害化技術の開発	(株)ミツワ製作所
	マイクロ波による水素放出化合物製造基盤技術	(有)ミネルバライトラボ
アグリ	糖尿病・認知症を同時に予防する京都産農産物の研究開発	同志社大学
	次世代型植物工場による高付加価値レタス生産	奈良先端科学技術大学院大学
	植物工場および屋外での薬用植物および健康野菜栽培において光源・養液・用土・システムが機能性成分に与える影響の解明	日本テレネット(株)
	「香の文化」における品質分類「見える化」プロジェクト	日本電気(株)
カルチャー・シヨ&ンテ	オープンサイエンスの基盤となる多様なネットワークを活用した「未来の学び」の場の形成を核とする科学実践・普及推進モデル事業	イーセップ(株)
	国産漆を利用した漆文化財修復支援プログラム	京都府立大学
	京都・奈良の文化遺産の高精度デジタルアーカイブと2次利用に関する検討	奈良先端科学技術大学院大学

オ 産学公金連携マッチングフェア（京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト）

京都府内の優れた固有技術を保有するものづくり中小企業（製品開発型企业等）と大手企業や大学等との連携を促進し、独自技術の向上、新技術・新製品の開発及び開発期間の短縮化とともに販路拡大を図るため、産学公金連携マッチングフェアを「京都ビジネス交流フェア2015」において開催した。

○開催結果（成果・評価）

1. 製品開発型京都企業によるシーズ・ニーズ発表会 総聴講者数 360人（16社）

■2月18日（水）	聴講者数	■2月19日（木）	聴講者数
京都エレクトロン（株）	14人	（株）坂製作所	31人
コニテク（株）	16人	（株）クロスエフェクト	33人
（株）DFC	19人	（株）大木工芸	21人
ニイガタ（株）	16人	S.ラボ（有）	50人
（株）魁半導体	22人	NKE（株）	17人
NNI（株） ナルックス(株)	19人	エースジャパン（株）	33人
（株）シオガイ精機	20人	（株）サイバーRC	17人
（株）セイワ工業キョーテック事業部	13人	高槻電器工業（株）	19人
計	139人	計	221人

2. 大学・金融機関・支援機関による展示

項目	大学等	金融機関	支援機関	計
出展機関数 (小間数)	18 大学 (18 小間)	8 機関 (8 小間)	8 機関 (9 小間)	34 機関 (35 小間)
名刺枚数	617 枚	336 枚	301 枚	1,254 枚
ブースへの来場者数	1,320 人	338 人	407 人	2,065 人
相談・商談件数	134 件	14 件	27 件	175 件
うち各種紹介件数	46 件	2 件	12 件	60 件

カ ウェルネス産業の創出支援（京都府補助金 コンソーシアム共同研究交流支援補助金）

中小企業と大学等のニーズマッチング、研究・技術・試作開発支援を実施し、新たなマーケットの開発に向けた中小企業の強化を図った。

共同研究交流支援事業連携試作等支援企業

テックワーク株式会社	500 千円
株式会社幹細胞イノベーション研究所	500 千円

（5）試作産業推進事業

ア 試作パートナー企業グループの育成

「京都試作ネット」及び京都試作センター(株)を中心とした京都試作プラットフォームの運営活動を積極的に支援した。

表 69 京都試作プラットフォーム（京都試作ネット）参画企業の状況

会員区分	企業数
コアメンバー	33 社
参加メンバー	22 社
協力メンバー	40 社
合計	95 社

①京都試作ネット理事会（試作プラットフォームを運営するコアメンバー（理事）による定例会議）

- ・定期総会：平成 26 年 5 月 29 日(木)＜京都府産業支援センター5F 研修室＞
- ・理 事 会：12 回開催（原則、第 4 木曜日、京都府産業支援センター5F 研修室にて開催）

②京都試作ネット『シルバー』会員会議

京都試作センター（株）との共催により、京都試作ネットシルバー会員（22 社）を対象に情報共有を中心とした連絡調整会議を開催した。

平成 26 年	6 月	6 日（木）	＜財団会議室＞
//	7 月	23 日（木）	＜財団会議室＞
//	9 月	19 日（金）	＜財団会議室＞
//	11 月	27 日（木）	＜京都府産業支援センター 5 階研修室＞
平成 27 年	1 月	20 日（火）	＜（株）最上インクス＞
//	3 月	16 日（月）	＜（株）若林佛具製作所＞

③京都試作産業推進会議

- ・平成 27 年 2 月 18 日（水）＜京都パルスプラザ 5 階会議室＞

イ 産学連携事業の実施

◆「ものづくりイノベーションネットワーク」に参画・協力

平成 25 年度に引き続き、文部科学省の補助を受けて、京都工芸繊維大学が地元企業、地元自治体等との連携により、オール京都による「京都イノベティブものづくりネットワーク」を構築し、革新的なものづくりシステムの構築及び地元ものづくり産業の中核を担う人材の育成を行うことによって、「京都を核にしたグローバル先端試作拠点」の構築を目指すもので、京都試作産業推進会議議長である当財団の村田理事長、副議長の京都府商工労働観光部岡本部長、京都試作ネット竹田代表、京都試作センター（株）鈴木社長等が運営委員として参画・協力。

・第2回「ものづくりイノベーションネットワーク」運営委員会

開催日：平成 26 年 8 月 27 日（月）

場 所：京都工芸繊維大学本部棟 3 階 第 1 会議室

- 内 容：（1）運営委員会等設置要項の改正について
（2）プロジェクトの進捗概要について
（3）学生教育について
（4）先端試作システム構築の進捗状況について

※運営委員会には、加藤常務理事が代理出席

・第3回「ものづくりイノベーションネットワーク」プロジェクト推進委員会

開催日：平成 26 年 8 月 7 日（木）

場 所：京都工芸繊維大学 創造連携センター 2 階会議室

- 内 容：（1）プロジェクトの全体進捗状況
（2）学生教育について
（3）企業人教育プログラム立案の進め方について
（4）先端試作システム構築の進捗について

・第4回「ものづくりイノベーションネットワーク」プロジェクト推進委員会

開催日：平成 27 年 3 月 19 日（木）

場 所：京都工芸繊維大学 創造連携センター 2 階 プレゼンテーションルーム

- 内 容：（1）プロジェクトの全体進捗状況
（2）学生教育について
（3）企業人教育プログラムの進捗状況について
（4）先端試作システム構築の進捗状況について

ウ その他

人にやさしい介護機器開発支援プロジェクト運営協議会への参画

平成 25 年度に引き続き、京都府健康福祉部及び商工労働観光部の共管事業である「人にやさしい介護機器開発支援プロジェクト」運営協議会に委員として、京都試作センター（株）とともに参画し、介護機器開発及びプロモーションを支援

【開発テーマ】

- ①腰痛防止対策プログラム
- ②安心・安全な浮水遊具
- ③歩くことをあきらめない歩行器（立ち上がりアシスト機能付き）

（６）新産業育成・地域振興

ア きょうと元気な地域づくり応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

平成 20 年度に造成した「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」（総額 50 億円）の運用益を活用し、地域力の再生につながる新しいビジネスに対し助成金等の支援を実施。

平成 25 年度から京都産業育成コンソーシアムにおける「京都知恵産業支援共同事業」として「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」と京都市の「知恵産業創造支援事業」の申請書受付から審査までを共同で実施した。

平成 26 年 4 月に公募を行い、府内全域から 166 件の応募があった。

書類選考の結果、80 社からプレゼンテーションを受け、54 件を助成対象事業者として採択した。（財団 38 件採択、京都市 16 件採択）助成総額は 72,291 千円（38 件）。

また、採択事業者について、専門家による継続的なハンズオン支援事業（申請者に対する専門家による支援）を実施するとともに、マーケティング等の専門家を講師としたセミナー「ファンド経営塾」を 2 回開催したほか、首都圏への販路開拓支援として、東京インターナショナル・ギフト・ショーに参加した。

表 70 平成 26 年度採択事業 助成総額 72,291 千円

事業者名	事業名
(有)創造工房	フルーツガーリックを基点とする地域活性化のための基盤構築事業
平井電気(株)	丹後ちりめんで装飾した電気商材の販路拡大と海外市場開拓へ向けての取り組み
竹野酒造(有)	「蔵舞バー」で地域生き生き空間の創出！
NPO 法人わおん	空き家を活用し、働くデイサービスと地域のつどい場！～お年寄りの豊かな知識と経験を活かして～
高美機業場	贈り主の気持ちを伝えるちりめん風呂敷で衰退する和装産地の再興を図る～風呂敷を贈る、風呂敷で贈る～
(有)やくの農業振興団	焙煎蕎麦による「夜久野そば」ブランドの再生
司観光(株)	「ハンディキャップツーリズム普及促進による北部経済活性化事業」
(有)原田商店	古民家を中心とした空家及び耕作放棄地、山林の多角的利用による地域活性化事業
京菓子ふじ幸	農家と一体になった特産物（小豆・栗）の「地産地製」による高付加価値な原料生産方法の構築と地域資源を使った観光客誘致事業
(株)レスキュージャパン	初めての人向けの登山用品のレンタルで手軽に自然体験
内藤印刷(株)	『京都・かめおかひとまち百景』がホームページで繋ぐ 地域情報ステーションの構築
大石酒造(株)	美山の源流水と和の花を主に配合した微香料の化粧水の製造販売
(株)ぼくらがつくるところなります	工芸界のスター作家を生み出し 日本のほんまもんを知ってもらおう事業
料理旅館きぐすりや	古民家を活用したグルメとイベントのサロン
京焼炭山協同組合	京式登り窯と若手職人共同作業による京焼・清水焼の活性化事業

(有)サン・ユニット・カンパニー	業界初の避難誘導標識を「安心・安全」と共に全国へ発信―電源を使わない自然発光型屋外誘導標識の開発・製造・販売―
(有)み彌け	京人形の甲冑製作技術を活用した「甲冑型シートによる鞆等袋物」の開発および事業化
伸栄工業(株)	京都発エコな「組み立てミラクルアクリルケース」の商品化と販売
(株)P.O.ラボ	脳卒中片麻痺患者の超早期リハビリテーション開始が可能となる長下肢装具の開発
パティスリーメルキュール	京田辺の特産品「玉露」を使用した菓子づくりプロジェクト
京和あずま(株)	京都品種にこだわった和紅茶商品開発及び生産者ブランディング事業
NPO 法人けいはんな文化学術協会	食品の賞味期限をさめるための画期的簡易分析装置の開発
高野竹工(株)	京都産の竹を使った酒器等の自社製造とテナントでの自社製品の直接販売。
NPO 法人京都文化協会	文化財高精細複製品の常設展示会場の開設と、京文化ワークショップ会場の改修整備
(株)小町家	Beer on Tap! 国産クラフトビール Bar で古川町商店街を活性化
近江屋(株)	世界に2台しかない大型環状織機で作られる希少な「三軸組織」の生地（シルク）を用いて商品開発と海外および国内販路開拓で今期売上 1500 万円を目指す
金網つじ	京金網の手編みの技術を活かしたインテリア製品の開発と販路開拓
(株)老松	地域の観光資源「梅」を用いた和菓子の開発
NPO 法人フリンジシアタープロジェクト	アーティストインレジデンスと舞台芸術の手法を用いた観光資源創造プロジェクト
(株)舎那利	気軽に着物を楽しめるように着物の仕立てやお直しを低価格で提供
NPO 法人和	キッチン Nagomi における菓子製造部門のスタートアップ事業
(名)関東屋商店	京都産自社製味噌を原料とした調味料（熟成香タイプ・辛味タイプ）の開発と販売
ハム工房 古都	京都産ジビエを使用したソーセージ製品の開発・販売事業
COS KYOTO(株)	伝統工芸の素材・技術の可能性を見出し、発信する「文化ビジネス」拠点の設立・発展プロジェクト
アグリジャパン(株)	京都府下の農作物冷凍加工のための商品開発事業
富宏染工(株)	伝統的手描京友禅技術を活かした新しいジュエリー・雑貨の製作～新分野で手描京友禅商品の販路を開拓、拡大し職人技術の維持・継承を図る～
(株)坂製作所	SAKA パーソナルコンプレッサーを組み込んだカスタムメイド製品の開発
(株)青木光悦堂	高齢者と施設がより安心・安全な「お菓子の月間献立宅配システム」の販路開拓

①ハンズオン支援事業の実施

4月に4回（京都市内2回、中丹、丹後）の申請書作成サポート（専門家及び職員による指導）を実施。

マーケティングやホームページ作成などの専門家を派遣したほか、職員による訪問活動を実施した。

専門家派遣：39件 職員による訪問：36件

②ファンド経営塾の開催

販路開拓や販売促進に悩む事業者を対象に、専門家によるフォローアップを目的としたセミナーを2回実施した。26年度は特に、従前、開催できていなかった北部地域において

開催した。

表 71 ファンド塾開催実績

第 1 回	日時	平成 26 年 10 月 6 日 (月) 18:00~20:00
	場所	セントラーレホテル京丹後
	テーマ	商品・サービスが“元気に売れる”方法 (入門編)
	参加者	21 名
第 2 回	日時	平成 26 年 12 月 18 日 (木) 15:00~17:00
	場所	プラザホテル吉翠苑
	テーマ	地域から全国へ！これから始める営業力アップのためのネット活用法
	参加者	23 名

③東京インターナショナル・ギフト・ショーへの出展支援

日時：平成 26 年 9 月 3 日～5 日

場所：東京ビッグサイト

出展者数：6 社（ほかに商品、パンフレット等展示のみ 8 社）

商談件数：91 件

イ きょうと農商工連携応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

「きょうと農商工連携応援ファンド(25.2 億円)」の運用益を活用し、農林水産業者と中小企業者が連携して、新たに取り組むビジネスを支援するための助成を行った。

平成 26 年度は 3 月から公募を行い、16 件の応募があり、審査の結果 13 件の助成対象事業を採択した。採択企業に対しては、イベント等の情報を提供するとともに交流会を開催した。

表 72 平成 26 年度採択事業 助成総額 33,689 千円

事業者 (上段：代表者)	事業テーマ
新井 遼 蔵立 悦子	あらい農園 身土不二物語 ～二十四節気 季節彩る野菜の物語～
(株)花洛 田井水産(有)	京 634 式舞鶴の魚をブランド化するプロモーション事業
中村農園 (株)京都紀翔	京都嵯峨野産 ベっぴん甘恋トマト 赤と青の加工品の展開
(株)T・S コーポレーション (有)京都丹波牧場	ドライエイジング「熟成」技法で仕上げる「京都熟成ビーフ」
中嶋農園 (有)京フーズ	「祝」と「武士米」のコラボ：「武士の酒・武士の水」で、みんなで乾杯！！
亀井 芳郎 アグループ(株)	京都ブランドのポップコーンの開発・販売
(株)京のちから 桑木 康男	就農体験・防災訓練農場の開設で里山から元気を発信します！
堀井農園 (株)京都はんなり本舗	京都の梅・上州白を使用した多機能スイーツの商品開発
むしやしない 森田農園	高機能地場食材「京白丹波豆」を活用したお土産スイーツの開発と販路開拓

(有)上尾製材所 (株)あしだ	山の匠と製材所が考える京都杉を利用したフローリング開発
大石酒造(株) 森 隆治	チョロギを使用した日本初の認知症に効果のある薬草酒の製造販売事業
(株)グロウティ 一志アグリシステム(合)	亀岡産・食用ほうずきを使った商品化事業
(株)Re-TANGO (株)岩木ファーム	丹後の焼酎ブランド化及び丹後地方の農業の安定化・発展

①販路拡大支援

「京のふるさと出会い市」駅ナカでの販売
6社が延べ40日間 販売売上1,520千円

②交流会の開催

開催日：平成27年3月3日（火）＜京都府職員福利厚生センター 会議室4・5＞
参加者：20名
内 容：情報提供、意見交換、交流懇親会

ウ 京都企業創造ファンド事業（京都府寄附金 京都企業創造ファンド事業出資金）

＜京都企業創造ファンドの運営協力＞

将来性の高いアーリーステージのものづくり系ベンチャーに積極的な資金提供を行い、京都経済を支える波及効果の高い発注型ものづくり系企業を育成することを目的として実施した。

なお、ファンドの終期を26年度末から2年間延長し、継続保有投資先企業3社に対し、上場を目指して継続支援していく。

投資支援件数 33件

エ ベンチャー企業ソフト支援事業（京都府補助金 京都成長促進等総合支援事業補助金）

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業（以下、入居企業）をはじめベンチャー企業等の研究開発を効果的に支援し、円滑な事業化を実現するため、交流会開催事業等を実施し、ベンチャー企業へのソフト面の支援を行った。

表 73 産学交流会

区 分	実施日	内 容	参加者
第1回 京都大学宇治キャンパス(生存圏研究所&エネルギー理工学研究所) 産学交流会	平成26年 7月3日	【講演】 1「ナノスケール物質の光科学とその応用に向けて」 京大エネルギー理工学研究所 教授 松田一成 2「食物の機能性低分子化合物を生産する遺伝子の単離と応用」 同大学 生存圏研究所 教授 矢崎一史 3「災害に立ち向かう先端大気観測とその社会還元」 同大学 生存圏研究所 助教 古本淳一 4「新エネルギー立国への道 実用化迫る次世代太陽電池」 同大学 エネルギー理工学研究所 特任教授 吉川 暹 【産学連携の事例紹介】 「三菱化学における産学連携の取組みと新規商材の紹介」 三菱化学(株)大阪支社 部長代理 滝沢健一 【参加企業プレゼン】	71名

第2回 京都大学宇治キャンパス(防災研究所) 産学交流会	12月1日	【講演】 1.「災害リスク・コミュニケーションの新しいかたち」 京都大学防災研究所 教授 矢守克也 2.「満点計画 内陸地震の発生予測を目指して」 同大学 同研究所 教授 飯尾能久 【産学連携の事例紹介】 「地震ザブトン」の開発とマーケティング活動」 白山工業(株) 開発1部 田中洋一 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	52名
同志社大学・けいはんな産学交流会	10月29日	【企業紹介】 1.「ユニチカの健康食品素材」 ユニチカ(株)中央研究所 脂質グループマネージャー 高柳 勝彦 2.「ロボット開発の動向」 スキューズ(株) 常務取締役 市川裕則 【研究シーズ発表】 1.「生体の抗酸化能の評価と疾病予防」 同志社大学 生命医科学部 教授 市川寛 2.「ナノファイバーによる細胞足場開発とインピーダンス法による生体組織の特性評価」 同大学 同学部 教授 森田有亮 【施設見学】	74名
第3回 京都大学宇治キャンパス(化学研究所) 産学交流会	平成27年 3月3日	【講演】 1.「グルタチオン代謝とγ-グルタミントランスペプチターゼ(GGT)阻害剤」 京都大学化学研究所 教授 平竹 潤 2.「GGT阻害剤の化粧品原体としての開発研究」 同大学 同研究所 助教 渡辺文太 【産学連携の事例紹介】 「大学発ベンチャーの産みと育ての問題点と期待」 (株)ナールスコーポレーション 代表取締役 松本和男 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	62名

◆産業財産権相談会（けいはんなプラザ）

発明と産業財産権（特許等）についての無料個別相談会の開催

第1回 平成26年8月21日 相談企業 2社

第2回 平成27年1月15日 相談企業 2社

オ 外国出願支援事業（外国支援事業 特許庁 国庫補助金）

近畿経済産業局の補助事業である「外国出願支援事業」を活用し、知財を活用した海外事業展開を行う府内中小企業者の支援に取り組んだ。

平成26年度は、5月に公募を行い29件の申請があり、審査の結果、特許8件（5企業）、商標8件（7企業）を採択した。

出願国は米国（12件）、欧州（11件）中国（5件）、韓国（4件）、の順であった。

カ 農商工等連携支援事業の支援

平成20年7月に施行された「農商工等連携促進法」に基づき、中小企業者と農林漁業者が連携して行う取り組みに対して、関連諸施策の広報・普及と相談対応、認定企業のフォローアップを行い、意欲的な中小企業者と農林漁業者の取り組みを支援した。

現在までの認定数

農商工等連携事業計画の認定件数 京都府 17件（H26 0件）

キ ケいはんな・南部地域支援事業

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業をはじめ府南部地域企業を対象に京都府中小企業技術センターけいはんな分室、京都府山城広域振興局、けいはんな新産業創出交流センター等と連携し、学研都市地域における産学連携・産産連携を推進した。

また、各種助成金の共同申請、経営革新計画等の認定推進等の支援を行った。

- ◆「けいはんなビジネスメッセ（7月25日、けいはんなプラザ）」総合展
入居企業等124社が出展、販売促進・ビジネス交流等を支援
- ◆「けいはんなラボコミュニティ」の支援
ラボ棟入居企業等の自主的連携・交流グループ（25社）である「けいはんなラボコミュニティ」の月例会等で当財団の支援事業等を紹介するとともに当グループの紹介パンフを作成
- ◆入居企業等にメールマガジンによる補助金・経営等に関する情報提供
- ◆「クリエイティブ京都 M&T」紙面で3社を紹介
(株)構造機能科学研究所、(株)H&C技術研究所、日本制御(株)
- ◆平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省委託事業）のフォローアップ
「大型表示パネル用3Dセンサーの高精細化・高機能化」の補完研究推進支援
(H21年度採択、委託金額約3,200万円の補完研究推進)
(有)イーダブルシステム、日本電気化学(株)、ゼネラル(株)
- ◆山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部
山城地域において、積極的に事業を展開しようとする中小企業が、自らの強みを強化、弱みの補完・克服を目指し、自発的な交流・連携及び経営革新を図るためのきっかけとなる「場（機会）の提供」を趣旨として事業を実施

表 74 平成26年度交流連携サロン

区 分	実施日	内 容	参加者
山城ものづくり企業 オンリーワン倶楽部事業 (会員企業数96社)	平成26年 5月14日	第11回交流連携サロン 【講演】 「次世代植物工場による高品質作物の生産と海外展開による新産業創出」 京都府特別参与（前京都府立大学学長）竹葉 剛 【会員プレゼン】 (株)H&C技術研究所、(有)ナレック	19名
	10月31日	第12回交流連携サロン 【講演】 テーマ：「知恵の経営のススメ」 講 師：龍谷大学政策学部 教授 中森孝文 【会員プレゼン】 (株)花駒 【事例研究】	32名

ク 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業<一般型>（新規 京都府補助金 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業<一般型>基金造成型支援事業補助金）

自社の強みを活かし新商品・新サービス開発や新分野進出などの新規事業に取り組む中小企業等を対象に、市場調査・需要開拓等にかかる経費を助成するとともに、事業計画の実現に向け長期にわたり伴走支援した。

- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 事業可能性調査コース 100万円以内
事業トライアルコース 100万円以上 1,000万円以内
- ・事業期間 平成26年度～28年度（最長24か月間）

表 75 エコノミック・ガーデニング支援強化事業〈一般型〉採択実績

募集期間		事業提案件数	採択件数	採択額（千円）
9月1日～ 10月23日	事業可能性調査コース	39	25	19,219
	事業トライアルコース	25	14	93,889

ケ 中小企業R&D支援事業

「京都イノベーションベルト構想」の推進に向けて、本格的な製品開発を目指す府内中小企業に対して試作段階から応用・生産技術開発までの研究開発に要する経費を支援し、新たな産業展開や地域産業の活性化を図ることを目的に事業を実施した。提案テーマの公募を行い、審査を経て、試作・製品化コース4件、応用・生産技術等開発製品化コース3件（事業期間1年間、試作・製品化コース1,000万円以内、応用生産技術開発等製品化コース3,000万円以内、いずれも補助率50%）を決定した。

表 76 中小企業R&D支援事業〈試作・製品化コース〉採択テーマ

テーマ	分野	企業名
リチウムイオン電池電極用の超高精度間欠塗工システムの研究開発及び製造販売	環境・エネルギー	株式会社松岡機械製作所
水銀ランプ代替LED光源の製品化に向けた研究開発	環境・エネルギー	シーシーエス株式会社
海水電池における正極集電体の加工装置の開発	環境・エネルギー	株式会社信栄テクノス
高精度移動量検出センサモジュールの開発	環境・エネルギー	コーデンシ株式会社

表 77 中小企業R&D支援事業〈応用・生産技術開発等製品化コース〉採択テーマ

テーマ	分野	企業名
次世代液晶パネル駆動モジュールの製品化開発	環境・エネルギー	リボンディスプレイジャパン株式会社
燃料電池車用の薄板金属セパレータの流路体積増加を目的とする工法開発	環境・エネルギー	株式会社最上インクス
下肢血管用生体吸収性ステントの日本国内での早期製品化	ライフサイエンス	株式会社京都医療設計

（7）京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

本プロジェクトは、京都府が、厚生労働省の「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択（平成25年）を受けて、京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制のもとで、京都の強みを活かした成長分野である「次世代ものづくり産業分野」（対象19業種）を対象に、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、新事業創造と雇用創出を目指すもの。（※事業期間：平成25年度～27年度）

※次世代ものづくり産業分野

- ・社会課題対応分野：「エコ・エネルギー」、「ライフサイエンス」
- ・生活価値向上分野：「クロスメディア・コンテンツ」、「新文化産業」
- ・分野融合基盤機能：「ICT」（情報通信）、「試作」

ア 事業概要

①事業主体：京都府

※財団は、本プロジェクトの統括機関として、京都府等から事業受託等（一部を関係機関に再委託）

②推進主体：京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会

※府（会長：副知事）、京都市、労働局、経産局、経済団体、労働団体、産業支援機関、金融機関、大学、企業等で構成（統括機関：京都産業21）

③総事業費：約24億円（国補助金：8割、地元負担：2割（府、京都市））

※H25年度：約4億円

※H26・27年度：各約10億円

④アウトカム目標（雇用創出人数）：2,000人（正規雇用1,600人以上）

※H25年度：400人、H26・27年度：各800人

⑤主な事業内容

◆産業支援機関の機能強化による連携促進

- ・専門コーディネータによる新事業創造、雇用創出の取組支援
- ・分野融合促進のための各種事業実施（セミナー、商談会等の開催）

◆次世代ものづくり産業を担う人財確保・人材育成、正規雇用化促進

- ・専門コーディネータによる人財確保の取組支援、セミナー開催等
- ・求職者に対する実践型訓練（OJT）による人材育成、就職支援

◆雇用創出に取り組む企業の成長支援

- ・新事業創造をプロデュースできる高度人材確保支援（人件費補助）
- ・新事業創造に向けた課題解決や取組を指導・助言する高度専門家派遣

イ 財団の取組

①プロジェクト統括マネジメント事業

◆統括事務局「プロジェクト推進センター」開設（25.10.10）

- ・推進協議会、幹事会、タスクフォース会議の開催等により、PDCAによる事業進捗管理、横断連携・調整等を実施した。

※推進協議会（会長：山下晃正京都府副知事）、幹事会（幹事長：岡本圭司京都府商工労働観光部長）、タスクフォース会議（プロジェクトディレクター：西口泰夫元京セラ㈱代表取締役会長兼CEO）

◆高度人材確保支援事業

- ・新事業創造をプロデュースできる高度人材確保に対する支援を実施した。（人件費補助）

※補助金上限2,000千円／人×2人まで、補助率80%、ただし、事業終了時まで正規雇用創出が達成できない場合は、補助率を40%に減少

補助対象：55件、補助金額：84,729千円

◆高度専門家派遣支援事業

- ・新事業創造に向けた課題解決や取組を指導・助言する高度専門家派遣による支援を実施した。

※上限 10 万円／回×6 回まで

支援対象：101 件、延べ派遣回数：565 回、事業費：37,747 千円

②分野融合事業

◆事業アライアンス・販路開拓事業

- ・大手・中堅メーカーと府内中小企業との技術ニーズ商談会の開催、技術提案力強化ワーキング塾の開催、東京での展示商談会への京都ブース出展支援等を実施した。

◆オープンイノベーション連携推進事業（連携推進部）

- ・産産連携や産学連携による府内企業の製品開発支援等を実施した。

◆イノベーション・経営人材育成事業（経営革新部）

- ・大学や有識者等と連携した経営人材育成セミナー・講座等を実施した。

◆北京都ものづくりパーク大学連携推進事業（北部支援センター）

- ・京都工芸繊維大学等と連携した産学交流セミナー等を実施した。

③ライフサイエンス事業（ライフサイエンス推進プロジェクト）

ライフサイエンス分野（医療、福祉・介護、健康、食品）への参入、事業拡大支援を実施した。

◆コーディネータによる伴走支援

薬機法に基づく業許可申請、取引先紹介、共同研究先の紹介等

◆相談窓口の開設

- ・毎週水曜日午後（事前予約）
- ・法規制への対応、新事業展開、共同研究等ライフサイエンス分野の新規参入、事業拡大に関する相談にコーディネータが応じ、専門家や府薬務課の意見も聴取し回答
- ・相談企業数 33社

◆ビジネス情報の提供

a) ビジネスセミナーの開催（2回）

改正薬事法（薬機法）施行の取扱いや医療機器メーカーとのビジネスマッチングをテーマに開催。

来場者数 計741名

b) 生活支援ロボットビジネス研究会の設立・運営

成長産業として期待されるロボットビジネスの動向や参入可能性等をテーマに研究会を設立

- ・開催回数 3回
- ・会員数 87企業・団体

表 78 企業訪問件数（延べ）

（件・人）

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	雇用創 出人数
統括マネジ メント事業	63	69	60	54	39	22	102	20	20	23	82	18	572	420
分野融合事 業	106	147	169	188	148	138	180	116	93	114	110	126	1635	153
ライフサイ エンス事業	23	36	37	38	32	36	24	28	42	32	32	35	395	83
計	192	252	266	280	219	196	306	164	155	169	224	179	2602	656

ウ 事業実施状況（アウトカム：雇用創出人数）

■目標：2,000人（平成25～27年度）

※平成25年度：400人、平成26・27年度：各800人

■実績：1,920人（平成26年度まで）＜達成率96%＞

※平成25年度：508人、平成26年度：1,412人

エ 事業一覧

表 79 事業別実施機関

分野	事業名	事業実施機関	事業費 （千円）
産業支援機能 の強化による 連携促進	●プロジェクト統括マネジメント事業	京都産業21	63,607
	●事業アライアンス・販路開拓事業		117,325
	●オープンイノベーション連携推進事業		
	●イノベーション・経営人材育成事業		
	●ライフサイエンス分野支援事業		28,428
	●けいはんな異分野融合地域モデル事業	関西文化学術研究都市推進機構	16,080
	●エコ・エネルギー分野支援事業	京都産業エコ・エネルギー推進機構	21,558
	●新文化産業分野支援事業	京都試作センター	13,500
	●試作・戦略的受発注推進事業		55,020

	○クロスメディア・コンテンツ分野融合支援事業	京都クロスメディア・クリエイティブセンター ＜略称：ＫＣＣ＞	78,511 (●3,687)
	●コンテンツを活用したキャラクター商品化事業		
	●京都ＩＣＴプラットフォーム整備事業	京都高度技術研究所	111,024
人財確保・ 人材育成	○ものづくり企業人財確保支援事業	京都ジョブパーク	68,330
	○ものづくり産業未来人材育成事業		85,000
	●高度分析機器利用促進・人材育成事業	京都高度技術研究所	22,024
	●若手職人等の自立・創業就業支援事業	京都試作センター	31,892
	○若手クリエイターチャレンジ就業支援事業	ＫＣＣ	23,700
企業成長支援	●高度人材確保支援事業	京都産業２１	204,000
	●高度専門家派遣支援事業		35,000
計			974,999
	うち、財団受託分（●計）		723,145

※事業費は、当初計画ベース

4 庶務

(1) 理事会、評議員会

ア 理事会の開催状況

第14回 決議の省略

◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について

① 江川博前理事の辞任申出に伴い、補欠（後任者：山下省三）の理事を選任すること。

② 上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成26年4月25日とすること。

(2) 上記(1)の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、平成26年4月15日とすること。

第15回 決議の省略

◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について

① 田中準一前理事の辞任申出に伴い、補欠（後任者：岡本圭司）の理事を選任すること。

② 上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成26年5月28日とすること。

(2) 上記(1)の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、平成26年5月19日とすること。

第16回理事会 平成26年6月5日（木）京都リサーチパーク1号館4階 AV 会議室

◆議案

第1号議案 平成25年度公益財団法人京都産業21事業報告について承認を求める件

第2号議案 平成25年度公益財団法人京都産業21決算について承認を求める件

第3号議案 評議員会の目的である事項の提案（評議員の選任）について

第4号議案 公益財団法人京都産業21 第12回評議員会(定時評議員会)の開催について

第17回 決議の省略

◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について

内藤暁吾前評議員の辞任申し出に伴い、補欠（後任者：徳永敏寿老）の評議員を選任すること

第18回 決議の省略

◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

公益財団法人京都産業21理事会の目的である事項の提案について

(1) 京都府が募集する「けいはんなオープンイノベーションセンターの施設活用団体の募集」について応募すること

(2) 応募書類一式の作成、提出に関しては、執行理事に一任すること

第19回理事会 平成27年3月6日（金）KISTIC2階イノベーションルーム

◆議案

第1号議案 平成26年度（公財）京都産業21収支補正予算について承認を求める件

第2号議案 （公財）京都産業21第4次中期計画について決議を求める件

第3号議案 けいはんなオープンイノベーションセンター施設管理に係る業務の実施について
決議を求める件

第4号議案 （公財）京都産業21けいはんな支所の移転について決議を求める件

第5号議案 平成27年度（公財）京都産業21事業計画について承認を求める件

第6号議案 平成27年度（公財）京都産業21収支予算及び資金調達並びに
設備投資の見込みについて承認を求める件

第7号議案 （公財）京都産業21諸規程等の一部改正について決議を求める件

イ 評議員会の開催状況

第9回 決議の省略

◆評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ① 江川博前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠（後任）の理事を選任すること
- ② 上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成26年4月25日とすること。

第10回 決議の省略

◆評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ① 田中準一前理事の辞任申し出に伴い、補欠（後任者：岡本圭司）の理事を選任すること
- ② 上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成26年5月28日とすること。

第11回 決議の省略

◆評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ① 大槻前評議員の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠（後任者：永井秀明）の評議員を選任すること。

第12回 平成26年6月24日（火） 京都府産業支援センター5階 研修室

◆議案

第1号議案 平成25年度公益財団法人京都産業21決算について承認を求める件

第13回 決議の省略

◆評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ①内藤暁吾前評議員の辞任申し出に伴い、補欠（後任者：徳永寿老）の評議員を選任すること

(2) 第3次中期計画「3力年の数値目標」(平成24年度～26年度)の実績状況

重 点 サービス	目標項目	23年度 実 績	24年度		25年度		26年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
(財団全体)	企業訪問数	3,851	4,000	3,942	5,000	4,342	6,000 (6,000)	6,213
	新規登録企業数	20	100	57	200	194	300 (1,000)	896
販路開拓	商談機会の提供(商談件数)	3,773	4,000	4,639	4,500	4,508	5,000	4,062
連携強化	企業連携等マッチング(紹介件数)	186	200	134	250	422	300 (600)	797
経営力強化	フォローアップ活動件数	120	250	685	300	783	400 (1,000)	1,392
情報提供	メールマガジン配信先数	8,000	9,000	10,300	10,000	11,400	11,000	12,300
相 談	相談件数	8,877	9,000	8,268	9,500	12,471	10,000 (15,000)	15,222

() 内は平成26年度運営目標

(3) 人材育成研修

ア 派遣研修

- ◆中小企業大学校等へ職員を派遣 8回(延べ10人)
 - 海外販路開拓支援の進め方
 - 企業再生支援の進め方
 - 農商工連携・地域資源支援事業のフォローアップ支援
 - 市町村等産業振興関係者研修
 - 新商品開発支援の進め方
 - ものづくり企業の支援力
 - 製造業の成長分野進出支援
 - 地域ブランド戦略による地域活性化支援
- ◆平成26年度中小企業活性化担当者研修 1名派遣(公財)全国中小企業取引振興協会主催

イ 職員研修

- 人権問題職員研修(第1回50名、第2回51名)
- 健康管理セミナー(第1回50名、第2回46名)

ウ スキルアップ研修会

- ◆民間からの出向者による報告会を開催 30名
- ◆「財団会計規程に基づく契約事務について」を開催 27名
- ◆職員対象ホームページ作成講座を開催 9名(2日間)
- ◆職員対象接遇研修を開催(中セン合同) 10名
- ◆職員を講師とした勉強会を開催 2回(27名、21名)

(4) KIIC 会員等の状況

会員区分		26年3月	継続加入	区分変更	新規加入	27年3月	前年度比
KIIC 会 員	大 会 社	20	19	0	0	19	▲1
	中 会 社	50	49	0	0	49	▲1
	小 会 社	32	29	0	1	30	▲2
	グループ	39	37	0	4	41	2
	計	141	134	0	5	139	▲2
賛助会員		55	54	0	4	58	3
合 計		196	188	0	9	197	1
		▲8		0			

新規加入に注力し9社増加したが、経営環境の厳しさ等から8社の退会があった。

(資料)

財団の現況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

- 設立 平成 13 年 4 月 1 日
- 基本財産 2 億 1 千万円
- 役員 顧問 4 名、理事長 1 名、副理事長 3 名
専務理事 1 名、常務理事 1 名、理事 13 名、監事 2 名
- 職員 126 名
＜内訳＞
 - ◆常勤職員数 50 名【プロパー 17 名、府派遣 16 名、府 OB 4 名、財団 OB 2 名、民間出向 5 名、京都市出向 1 名、市町村研修生派遣 4 名、民間 OB 1 名】
 - ◆派遣・臨時職員 45 名
 - ◆相談員 3 名
 - ◆ビジネス・スーパーバイザー 4 名
 - ◆コーディネータ等 24 名

○組織体制

